

消 防 年 報

令和 3 年版

南 但 消 防 本 部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び令和2年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、令和3年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

令和3年6月

南但消防本部



南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
令和2年度中の主要行事	10
おもな出来事	12
一目統計	14

【概要編】

管理	16
予防	17
災害活動の概要	
火災	18
救急	20
救助	22
通信	24

【統計資料編】

管理編

令和2年度予算状況	27
令和2年度職員給与費等の実態	27
階級別勤続年数	28
年齢別職員構成	28
研修派遣状況	29
階級別資格取得状況	30
令和元年度一般会計決算の概要	31
消防相互応援協定等の締結状況	32

予防編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）	34
防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）	35
確認申請処理状況	36
消防教室実施状況	36
危険物施設数及び立入検査回数	37
危険物施設設置許可及び変更許可の状況	37
市別・数量別危険物施設数	38
市別・類別危険物施設数	38
各種届出等受理状況	39

警防編

火災

年次別火災発生状況	41
月別火災発生状況	43
曜日別火災発生状況	43
時間別火災発生状況	44
使用した消防水利	44
覚知から現場到着までの所要時間	45
放水開始から鎮火までの所要時間	45
出火原因	46
用途別火災発生状況	47

救急

年次別救急発生状況	48
月別救急発生状況	49
曜日別救急発生状況	50
時間別救急発生状況	51
覚知から現場到着までの所要時間状況	52
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	52
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	53
救急隊の行った主な応急処置状況	53
事故種別・収容医療機関状況	54
地域別・収容医療機関状況	54
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	55
普通救命講習実施状況	55

救助

年次別救助発生状況	56
月別救助発生状況	57
曜日別救助発生状況	58
時間別救助発生状況	59
事故種別・傷病程度別状況	60

通信

年次別 119 番受信状況	61
---------------------	----

装備

消防用機器の配置状況	62
------------------	----

各種団体

消防団組織図	64
協力団体組織図	65

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

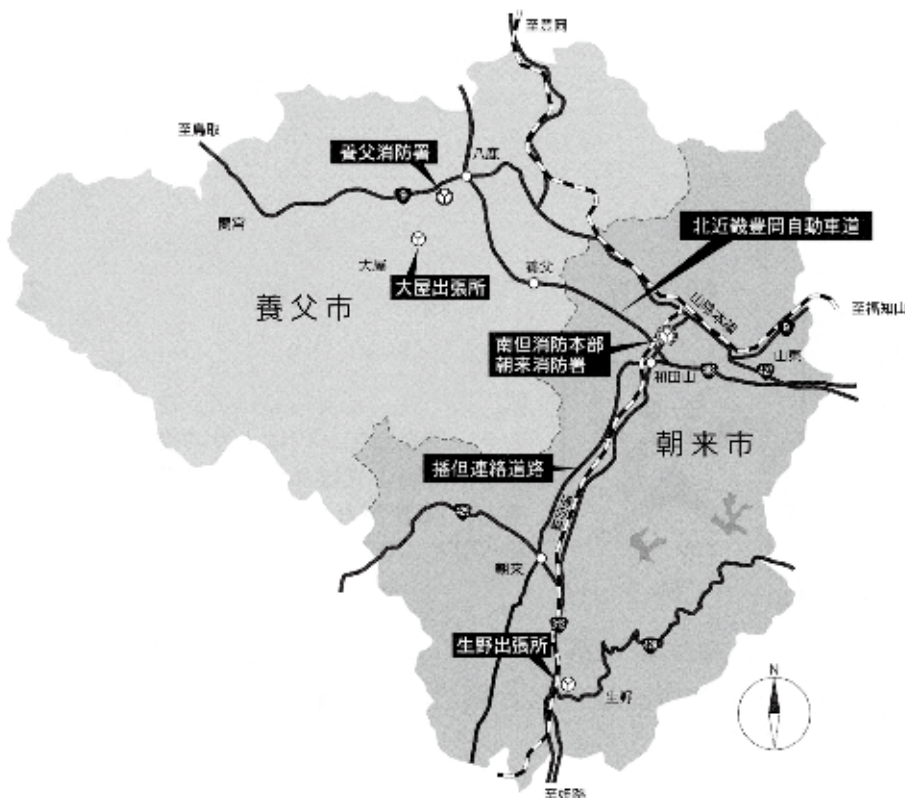
南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号及び427号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、国道312号に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号に沿ってJR山陰本線が通っています。平成29年3月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高神鍋高原IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、さらに、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。

平成29年4月28日、文化庁により地域の歴史遺産や文化財の魅力を伝えるストーリーを認定する「日本遺産」に、養父市・朝来市を含む6市町共同で申請した『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』が正式に認定されました。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口（人）	世帯数（世帯）	面積（km ² ）
養父市	22,634	9,313	422.91
朝来市	29,525	12,314	403.06
合 計	52,159	21,627	825.97

R3.3.31現在 住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市

「響きあう心 世界へ拓く ^{ゆい}結の郷 やぶ」



【市章】

三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】 ミズバショウ

【市木】 ブナ

【主な産業・経済】

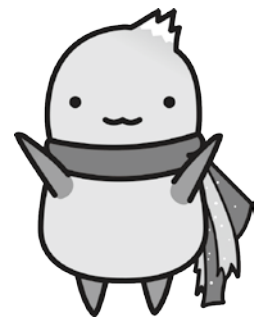
大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山（兵庫県最高峰）、天滝（日本の滝 100 選）

明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔

全日本ビバホールチェロコンクール



【養父市イメージキャラクター】

やっぶー

朝来市

「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



【市章】

朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】 さくら

【市木】 けやき

【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡（日本 100 名城）、茶すり山古墳（近畿最大円墳）

生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園

神子畑鑄鉄橋（日本最古の全鑄鉄橋）



【朝来市マスコットキャラクター】

ちゃあいん

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】

朝来市和田山町枚田436番地 1

【建築年月】

昭和51年12月（平成16年 9 月耐震化工事完了）
（平成28年 9 月駐車場舗装修繕工事完了）

【敷地面積】

2,651.40㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建



消防署

養父消防署

【住所】

養父市八鹿町高柳173番地

【建築年月】

昭和53年12月（平成26年12月耐震化工事完了）
（平成30年 7 月駐車場舗装修繕工事完了）

【敷地面積】

1,368.81㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2 階建



出張所

朝来消防署生野出張所

【住所】

朝来市生野町口銀谷222番地 1

【建築年月】

昭和52年11月

【敷地面積】

585.55㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2 階建



養父消防署大屋出張所

【住所】

養父市大屋町樽見549番地

【建築年月】

昭和54年12月
（平成26年 8 月耐震化（事務所棟建替）工事完了）

【敷地面積】

751.93㎡

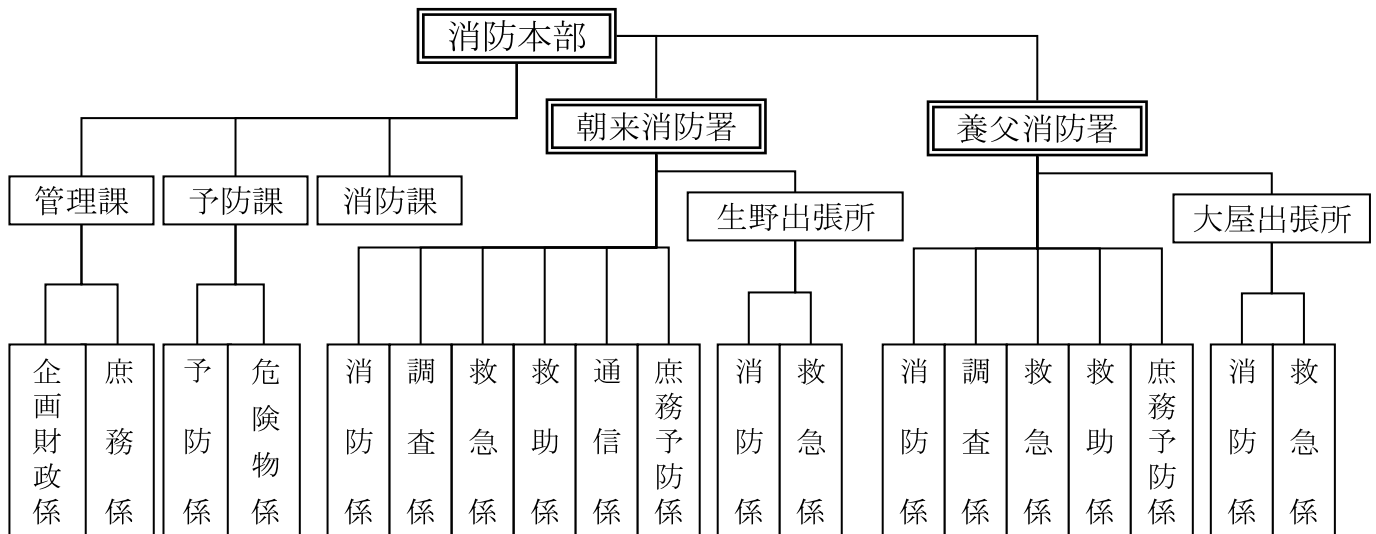
【構造】

鉄骨造 2 階建



南但消防本部組織

(R3.4.1 現在)



階級別職員配置状況

(R3.4.1 現在)

区 分		消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長 消 防 士	計
消防本部	消 防 長	1					1
	次 長		1				1
	管 理 課		2	2		6	10
	予 防 課		3	1	2	2	8
	消 防 課		6	5			11
朝来消防署	署 長		(1)				(1)
	副 署 長		1 (2)				1 (2)
	庶務予防係			(4)	(2)	(3)	(9)
	第 一 部		(3)	3 (3)	2 (1)	4 (1)	9 (8)
	第 二 部		1 (2)	3 (4)	2 (1)	4 (1)	10 (8)
	生野出張所 所長		1				1
	生野出張所 第一部		(1)	1	1	2	4 (1)
	生野出張所 第二部			3	1	1	5
養父消防署	署 長		1				1
	副 署 長		(1)				(1)
	庶務予防係		(1)	3			3 (1)
	第 一 部		3	3 (1)	2	3	11 (1)
	第 二 部		3	3 (1)	2	3	11 (1)
	大屋出張所 所長		1				1
	大屋出張所 第一部		(1)	1	2	1	4 (1)
	大屋出張所 第二部			2	1	2	5
計		1	23 (12)	30 (13)	15 (4)	28 (5)	97 (34)

※ () は兼務職員を示す。

消防車両一覧

(R3. 3. 31現在)

種 別			メーカー	導入年度	経過年数	エンジン
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成30年	2年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	日野	令和元年	1年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車15m級	日野	平成28年	4年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成29年	3年	ディーゼル
	5	高規格救急自動車	トヨタ	平成21年	11年	ガソリン
	6	高規格救急自動車	トヨタ	平成24年	8年	ガソリン
	7	高規格救急自動車	トヨタ	平成29年	3年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成14年	18年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年	11年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年	9年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年	11年	-
	12	司令車	ホンダ	平成21年	11年	ハイブリット
生野出張所	13	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	日野	平成30年	2年	ディーゼル
	14	高規格救急自動車	トヨタ	平成26年	6年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年	8年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年	10年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	三菱	平成15年	17年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年	14年	ディーゼル
	4	高規格救急自動車	トヨタ	平成25年	7年	ガソリン
	5	高規格救急自動車	トヨタ	令和元年	1年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年	13年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年	11年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年	7年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	トヨタ	平成23年	9年	ディーゼル
	10	高規格救急自動車	トヨタ	平成30年	2年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年	7年	ガソリン

沿革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足（記念式典及び消防本部旗授与式挙行 4/1） 消防吏員 4 名を採用（条例定数 98 名） 県下広域を含めて各消防応援協定を締結（詳細は 34 頁に掲載）
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN119だより」創刊号を発行
11月	公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	大屋出張所耐震化工事着手 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員 7 名を採用（条例定数 98 名）
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災 20 年メモリアル訓練実施（南但消防本部） 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員 7 名（うち 1 名、初の女性消防吏員）を採用（条例定数 98 名）
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年 1月	消防救急デジタル無線試験運用開始
4月	消防救急デジタル無線正式運用開始 消防吏員 5 名を採用（条例定数 98 名） 熊本地震緊急消防援助隊派遣（4/16～4/22 救急小隊、後方支援隊 延べ 12 名を派遣）
8月	第 45 回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
9月	朝来消防署アスファルト舗装修繕工事完了
11月	15m はしご付消防自動車を更新し朝来消防署に配備
平成29年 4月	消防吏員 2 名（うち 1 名、初の女性救急救命士）を採用（条例定数 98 名）
9月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市）
11月	第 26 回全国救急隊員シンポジウム事例発表（千葉市）
12月	第 6 回全国消防職員剣道大会：女子個人の部第 3 位
平成30年 3月	救助工作車を更新し朝来消防署に配備（緊急消防援助隊 救助小隊に登録）
4月	消防吏員 6 名を採用（条例定数 98 名）
7月	平成 30 年 7 月豪雨 緊急消防援助隊派遣（7/18～7/20 救助小隊を派遣） 養父消防署駐車場アスファルト舗装修繕工事完了
11月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市、朝来市）
平成31年 1月	第 27 回全国救急隊員シンポジウム事例発表（高松市）
3月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備 消防ポンプ自動車を更新し生野出張所に配備
4月	消防吏員 3 名を採用（条例定数 98 名）
令和元年 6月	G20 大阪サミット特別警戒に救急隊を派遣
8月	全国消防救助技術大会（基本泳法の部）に出場し入賞

	11月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市）
	12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備
令和2年	1月	消防ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備
	4月	消防吏員3名を採用（条例定数98名）
	11月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市）

2 旧朝来市消防本部の沿革

年	月	記 事
昭和51年	4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部（署）を設置（新規採用18名を含む20名で消防業務開始）
	10月	初任科研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
	12月	和田山町枚田436番地1に消防本部庁舎竣工、移転
昭和52年	1月	消防用無線電話開局
	4月	消防吏員14名を採用
	11月	生野町口銀谷222番地1に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員9名を配置し消防業務開始
昭和53年	1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
	4月	消防吏員9名を採用（条例定数43名）。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
昭和54年	3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年	11月	広報紙「119だより」創刊号を発行
	12月	救急指令装置C型を整備
昭和56年	4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
	8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年	2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
	8月	第11回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
昭和58年	6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
	8月	第12回全国消防救助技術大会に3年連続で出場。
昭和59年	8月	第13回全国消防救助技術大会に4年連続出場
昭和60年	1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年	6月	河川情報システムを運用開始
	8月	第15回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
昭和62年	8月	第16回全国消防救助技術大会に2年連続出場
平成2年	3月	消防訓練塔（15m主訓練塔及び補助訓練塔）が完成
	4月	緊急通報システム運用開始
	10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成5年	4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成6年	2月	消防緊急通信指令施設運用開始
	4月	救急救命士養成所に職員1名を初めて派遣（神戸市 前期）
平成7年	4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成8年	6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
	9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結

平成9年	3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を举行 播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/15)。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成11年	8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年	8月	第29回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成14年	3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
平成15年	8月	第32回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
平成16年	9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
平成17年	3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4月	朝来市消防本部誕生、(朝来郡4町が合併し朝来市が誕生)
	11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成18年	8月	第35回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
	12月	第9回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成19年	2月	高機能消防指令センター運用開始
	6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
	8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
	12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年	8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
平成23年	8月	消防広域化協議会発足式開催
平成24年	8月	第41回全国消防救助技術大会に4年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
平成25年	3月	朝来市消防本部を開庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年	月	記 事
昭和53年	4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)
	10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
	12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年	4月	消防吏員7名を採用
昭和54年	12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置し消防業務開始
昭和55年	3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
	4月	消防吏員5名を採用(条例定数35名)
	6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年	8月	消防本部書庫及び車庫増築
	11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
	12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年	3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
	6月	大屋町婦人防火クラブ結成
	8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和61年	1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成

昭和63年	4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足 10 周年記念式典挙行
	8月	本署に救急消毒室整備
		林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
平成元年	8月	出張所に救急消毒室を整備
平成3年	10月	緊急通報システム運用開始
平成7年	10月	救命士養成所に職員 1 名を初めて派遣（財団九州研修所 後期）
平成10年	6月	養父郡消防本部発足 20 周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
平成10年	12月	冬山搜索装備品整備
平成12年	12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年	12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成15年	3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員 1 名を隊員派遣
	8月	第 32 回全国消防救助技術大会に初出場
平成16年	3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4月	養父市消防本部誕生（養父郡 4 町が合併し養父市が誕生）
	8月	第 33 回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
平成17年	4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
	8月	第 34 回全国消防救助技術大会に 3 年連続で出場
	9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
	11月	携帯電話からの 119 番通報を直接受信開始
平成19年	8月	第 36 回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
平成20年	7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年	11月	携帯・I P 電話位置情報システム運用開始
平成23年	8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
平成24年	8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式（8 / 22）
平成25年	3月	養父市消防本部を閉庁

令和２年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	南但消防本部辞令交付式（職員採用者 3 名） 山火事防止月間（～4/30）
4月 2日	兵庫県消防学校「初任科」 2 名入校（～10/15）
5月 7日	新人職員強化訓練（～5/31）
5月 11日	養父市幼少年婦人防火委員会（書面決議）
6月 1日	救助強化訓練（～7/31）
6月 3日	養父市婦人防火クラブ総会（書面決議）
6月 7日	危険物安全週間（～6/13）
6月 8日	南但危険物安全協会総会（書面決議）
6月 12日	防災パトロール
6月 18日	但馬消防連絡会（於：豊岡市）
6月 23日	朝来市自主防災推進協議会総会（書面決議）
7月 15日	播但警防担当者会議（於：姫路市）
7月 29日	南但危険物安全協会表彰伝達式（於：和田山ホテル）
8月 6日	水難救助訓練・兵庫県防災ヘリ合同訓練（於：ねずみ塚公園）
8月 21日	夏季兵庫県下消防長会議（於：神戸市）
9月 1日	兵庫県消防学校「救急救命士養成課程」 2 名入校（～3/18）
9月 2日	甲種防火管理新規講習（9/2, 3）
9月 6日	救急医療週間（～9/12）
9月 13日	北近畿豊岡自動車道現地調査・訓練（9/13, 14）
9月 24日	防火ポスター審査会（於：南但消防本部）
10月 1日	危険物保安講習（於：八鹿文化会館）
10月 7日	兵庫県防災ヘリ合同訓練（於：ハチ高原）
10月 10日	初任教育査閲（於：兵庫県消防学校）
10月 15日	第 85 期初任科卒業式（於：兵庫県消防学校）
10月 16日	播但地区消防長会議（豊岡市）
10月 22日	フルハーネス型墜落制止用器具取扱作業特別教育
10月 23日	キャリアトークカフェ（於：和田山高校）
10月 30日	安全運転管理者講習会（於：和田山ジュピターホール）
11月 6日	防火ポスター展（於：J A たじまんま、マックスバリュ養父店、～11/15）
11月 8日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練情報伝達訓練
11月 9日	秋季全国火災予防運動（～11/15） キャリアトークカフェ（於：生野高校）
11月 10日	南但消防本部職員意見発表会
11月 15日	住宅密集地火災防ぎょ訓練（於：養父市大屋町大屋市場）
11月 17日	チェーンソー作業従事者特別教育（～11/19）
11月 18日	兵庫県消防学校「警防科」入校（～12/2） 兵庫県消防学校「救助科」入校（～12/18）

月 日	内 容
11月 24 日	安全運転管理者講習会（於：但馬長寿の郷）
12月 1 日	消防訓練強化期間（～12/14）
12月 2 日	但馬地域冬期情報連絡本部関係機関会議（豊岡市）
12月 5 日	危険物補助講習会（於：養父公民館）
12月 7 日	兵庫県消防学校「危険物科」入校（～12/11）
12月 10 日	緊急消防援助隊救助部隊C S R 訓練（12/10, 11）
12月 14 日	緊急消防援助隊救助部隊ブリーチング訓練（12/14, 15）
12月 15 日	年末年始特別警戒（前期 12/15～12/24、後期 12/25～1/3）
1 月 12 日	令和 3 年消防出初式（於：南但消防本部）
1 月 18 日	兵庫県消防学校「救急科」入校（～3/12）
2 月 9 日	播但地区消防職員意見発表会（書類審査）
2 月 25 日	雪中山岳遭難救助訓練（2/25, 26）
2 月 27 日	N E T 1 1 9 登録説明会
3 月 1 日	春季全国火災予防運動（～3/7）
3 月 10 日	兵庫県消防学校山岳救助器具取扱技術研修（～3/12）
3 月 14 日	救急救命士国家試験（於：大阪市）
3 月 18 日	救急救命士養成課程修了式（於：兵庫県消防学校）
3 月 31 日	退職者辞令交付式（退職者 4 名）

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式 (4月1日)

4月から新しく3名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く住民から信頼される消防士になることを誓いました。



養父市職員感染防止対策 (4月14日)

市内での新型コロナウイルス感染患者の発生に備え、市職員約70名が参加し、防護服取り扱い訓練を実施しました。



水難救助訓練 (ラフティングボート取り扱い訓練) (潜水訓練)

(9月17日、24日)

(10月13日)

今年度新たに養父消防署にラフティングボートが配備され、水難救助事案で有効に活用できるよう河川での操船訓練を実施し、技術の体得を目指しました。また、温水プールを使用し、潜水訓練を実施しました。水中という特殊な環境のなか、各隊員は知識、技術の習得に努め、訓練に取り組みました。



消防職員意見発表会 (11月10日)

南但消防本部消防職員意見発表会を実施しました。最優秀賞を受賞した山脇副士長が、消防本部の代表として、播但地区消防職員意見発表会に出場し、優秀賞を受賞しました。



養父市密集地火災防御訓練 (11月15日)

秋の火災予防運動に伴い、住宅密集地火災防御訓練を実施しました。訓練を通して、地域住民と関係機関の更なる連携強化を図りました。

～おもな出来事～



緊急消防援助隊 狭隘閉鎖空間救助訓練
(12月10日、11日)



ブリーチング訓練
(12月14日、15日)

緊急消防援助隊登録隊員が、狭隘閉鎖空間救助訓練、ブリーチング訓練を実施しました。狭隘空間での活動の難しさを体感し、改善点、課題等を見つけることができました。また、実際に鉄筋コンクリートを破壊し、倒壊した建物への進入・救出方法を学びました。



消防出初式 (1月12日)

南但消防本発足8周年を迎えました。コロナウイルス感染予防の観点から、例年より規模を縮小し、式典と観閲のみとなりましたが、士気の高さを示しました。



雪中山岳遭難救助訓練 (2月25日、26日)

雪中における山岳遭難救助技術の向上を目的として訓練を実施しました。かんじきを装着した状態での歩行訓練や、低体温症の傷病者搬送を想定した搬送訓練等を行いました。



高機能消防指令センター整備

高機能消防指令センターが整備されました。119番通報の受信から災害地点の決定、出動車両の編成、出動指令までを自動的にを行い、迅速的確な災害現場活動を支援します。指令システムと各車両に設置したAVM(車両運用端末装置)で構成され、車両編成に組み込まれた車両に対し地図付指令情報を送信します。また、車両のGPS装置から、位置情報を把握することができます。



AVM(車両運用端末装置)

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世帯数
2市	825.97km ²	52,159人	21,627世帯
養父市 朝来市	養父市422.91km ² 朝来市403.06km ²	養父市 22,634人 朝来市 29,525人	養父市 9,313世帯 朝来市 12,314世帯

予 算	組 織	職員数	消防団員数
1,294,709千円	消防本部 1 消 防 署 2 出 張 所 2	97名	2,145名 養父市 1,194名 朝来市 951名

防火対象物	危険物施設	防火団体	
3,126棟 養父市1,486棟 朝来市1,640棟	302施設 養父市 157施設 朝来市 145施設	朝来市自主防災 推進協議会 404会員 地 域 会 員 159会員 事業所会員 240会員 賛 助 会 員 5会員	養父市幼少年婦人 防火委員会 10クラブ 幼年消防クラブ 7クラブ 少年消防クラブ 2クラブ 婦人防火クラブ 1クラブ

火 災	救 急	救 助	その他
19件 【出火原因】 ①焼却火 ② { 電気装置 不明	出動件数 2,799件 搬送人員 2,571名 【事故種別】 ①急病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 60件 救助人員 46名 【事故種別】 ①交通事故 ②建物等による事故 ③機械による事故	出動件数 957件 【種別】 ①へり支援 734件 ②救急支援 173件 ③その他 50件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救急車
119番総受信回数 3,263回 緊急通報受信回数 2,505回	タンク車 1台 ポンプ車 4台	はしご車 1台 救助工作車 2台 化 学 車 1台	高規格救急車 6台

概 要 編

凡例

統計中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0」……………該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「△」……………負数

「(空白)」…該当なし

管 理

1 令和2年度消防行政の推進

世界中で新型コロナウイルス感染症が感染拡大し、世界各地の経済・社会に多大な影響を及ぼしました。消防行政においてもこの影響により、あらゆる業務・分野で感染防止対策の徹底を求められることになりました。今後も社会情勢の変化を的確に見極め、迅速かつ柔軟に対応しながら消防業務を遂行していくことが必要となってきます。



令和2年度の主な事業としては、導入後14年を経過した高機能消防指令センターを更新しました。新たな機能として、言語・聴覚の障害により音声での通報が困難な方でも通報することができる「Net119緊急通報システム」や外国人の方からの通報に対応するための「多言語三者間同時通訳サービス」を導入しました。さらに車両動態管理システムを導入したことで、より効果的、効率的な部隊運用と現場到着時間の短縮が図られ、災害時の初動体制が今まで以上に円滑に行えるようになりました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 防火対象物や危険物施設の防火・保安体制確立
- (2) 住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
- (3) 災害現場対応力の向上
- (4) 計画的かつ適正な資機材の保守管理
- (5) 風通しの良い職場づくり

2 令和2年度当初予算

令和2年度当初予算の総額は1,294,709千円で前年と比較すると348,142千円の増となっています。



このうち人件費は765,627千円で歳出予算総額の59.1%を占めています。また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は439,479千円で33.9%を占め、前年と比較すると345,557千円の増となっています。主な事業として、高機能消防指令センター、養父消防署の空調設備を更新しました。

予 防

1 防火対象物の状況

令和2年度末の防火対象物は総数 3,126 棟で、市別では養父市 1,486 棟、朝来市 1,640 棟となっています。用途別では「その他の事業所」が 738 棟と最も多く約 24%を占めており、続いて「工場等」(504 棟)、「共同住宅等」(329 棟)となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は 497 件(棟数)で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

令和2年度末の危険物施設数は総数 302 施設で、市別では養父市 157 施設、朝来市 145 施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が 90 施設と最も多く約 30%を占めており、続いて「一般取扱所」(56 施設)、「給油取扱所」(48 施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は 160 回で、全施設の約 53%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

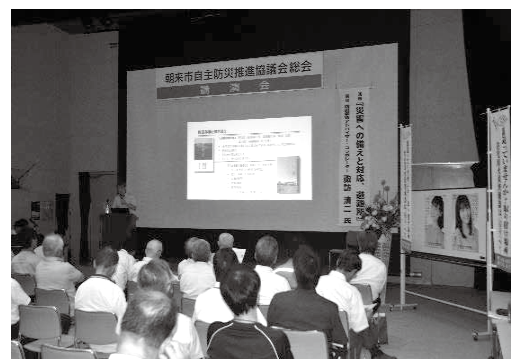
管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。



養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左) 童和こども園幼年消防クラブ員防火餅つきの様子
(下) 朝来市自主防災推進協議会での防災講演会の様子

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



火 災

令和2年中の出火件数は19件で、前年(24件)と比較すると5件の減少となっています。

火災種別でみると、建物火災が7件、林野火災が1件、車両火災が1件、その他の火災が10件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は9件で、その内訳は、建物火災が1件、林野火災が1件、車両火災が1件、その他の火災が6件となっています。

養父市内の出火件数は10件で、その内訳は、建物火災が6件、その他の火災が4件となっています。

火災の損害は49,711千円で、前年と比較すると44,874千円減額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が1人、負傷者が2人、その他の火災で負傷者が2人発生しています。

朝来市で発生した林野火災は、1,900aを焼損し、鎮火まで9日間を要した大規模火災となりました。

火災の状況



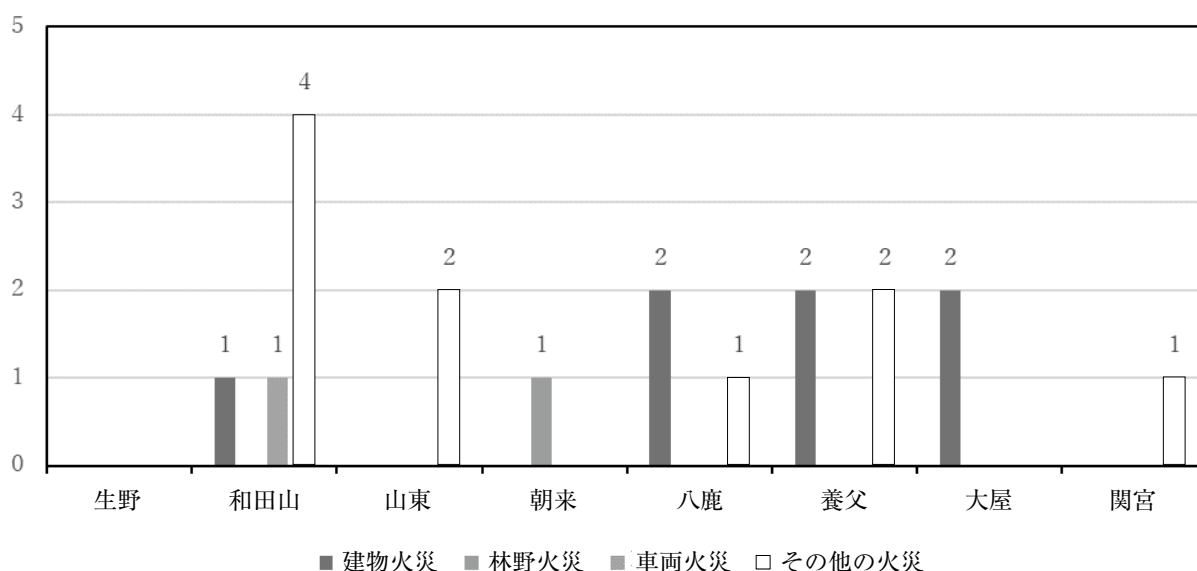
区 分		令 和 2 年	令 和 元 年	比 較 増 減
出 火 件 数	総 数	19	24	△5
	建 物 火 災	7	9	△2
	林 野 火 災	1	2	△1
	車 両 火 災	1	1	
	そ の 他 の 火 災	10	12	△2
焼 損 棟 数	総 数	9	12	△3
	全 焼	2	4	△2
	半 焼		3	△3
	部 分 焼	2	4	△2
	ぼ や	5	1	4
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	219	1,923	△1,704
	林 野 (a)	1,930	42	1,888
損 害 額 (千 円)	総 額	49,711	94,585	△44,874
	建 物	13,247	64,972	△51,725
	林 野	35,749	91	35,658
	車 両	433	25,889	△25,456
	そ の 他	282	3,633	△3,351
り 災 世 帯 数		3	13	△10
り 災 人 員		5	22	△17
死 者		1		1
負 傷 者		4	4	

地域別の状況

区 分		総数	朝 来 市					養 父 市				
			小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮
出 火 件 数	総 数	19	9		6	2	1	10	3	4	2	1
	建 物 火 災	7	1		1			6	2	2	2	
	林 野 火 災	1	1				1					
	車 両 火 災	1	1		1							
	その他の火災	10	6		4	2		4	1	2		1
焼 損 棟 数	総 数	9	1		1			8	2	2	2	2
	全 焼	2						2	1			1
	半 焼											
	部 分 焼	2						2	1			1
	ぼ や	5	1		1			4		2	2	
焼損 面積	建 物(㎡)	219						219	208			11
	林 野(㍔)	1,930	1,900				1,900	30				30
損 害 額 (千 円)		49,711	37,477		1,752	3	35,722	12,234	12,114	32	34	54
り 災 世 帯 数		3						3	1	1	1	
り 災 人 員		5						5	1	2	2	
死 者		1						1	1			
負 傷 者		4						4		2	1	1

地域別・火災種別出火件数

(件)



救 急

令和2年中の救急件数は2,799件、搬送人員は2,571人で、前年(3,079件、2,823人)と比較すると件数で280件の減少、人員で252人の減少となっています。

事故種別でみると、急病が1,696件で最も多く、次いで一般負傷460件、転院搬送299件、交通事故165件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,396件、養父市内の救急件数は1,402件、管外が1件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野164件、和田山752件、山東218件、朝来262件となっており、養父市内は、八鹿567件、養父384件、大屋218件、関宮233件となっています。



救急の状況

区 分	令和2年		令和元年		比較増減
	件 数	比率 (%)	件 数	比率 (%)	
総 数	2,799	100	3,079	100	△ 280
火 災	6	0.2	1	0.1	5
自 然 災 害					
水 難 事 故	1	0.1	1	0.1	
交 通 事 故	165	5.9	222	7.2	△ 57
労 働 災 害	20	0.7	35	1.1	△ 15
運 動 競 技	7	0.3	12	0.4	△ 5
一 般 負 傷	460	16.4	491	15.9	△ 31
加 害	8	0.3	1	0.1	7
自 損 行 為	23	0.8	10	0.3	13
急 病	1,696	60.6	1,883	61.1	△ 187
転 院 搬 送	299	10.7	310	10.0	△ 11
そ の 他	114	4.0	113	3.7	1

※その他とは、上記以外のもの。(例) 医師搬送など。

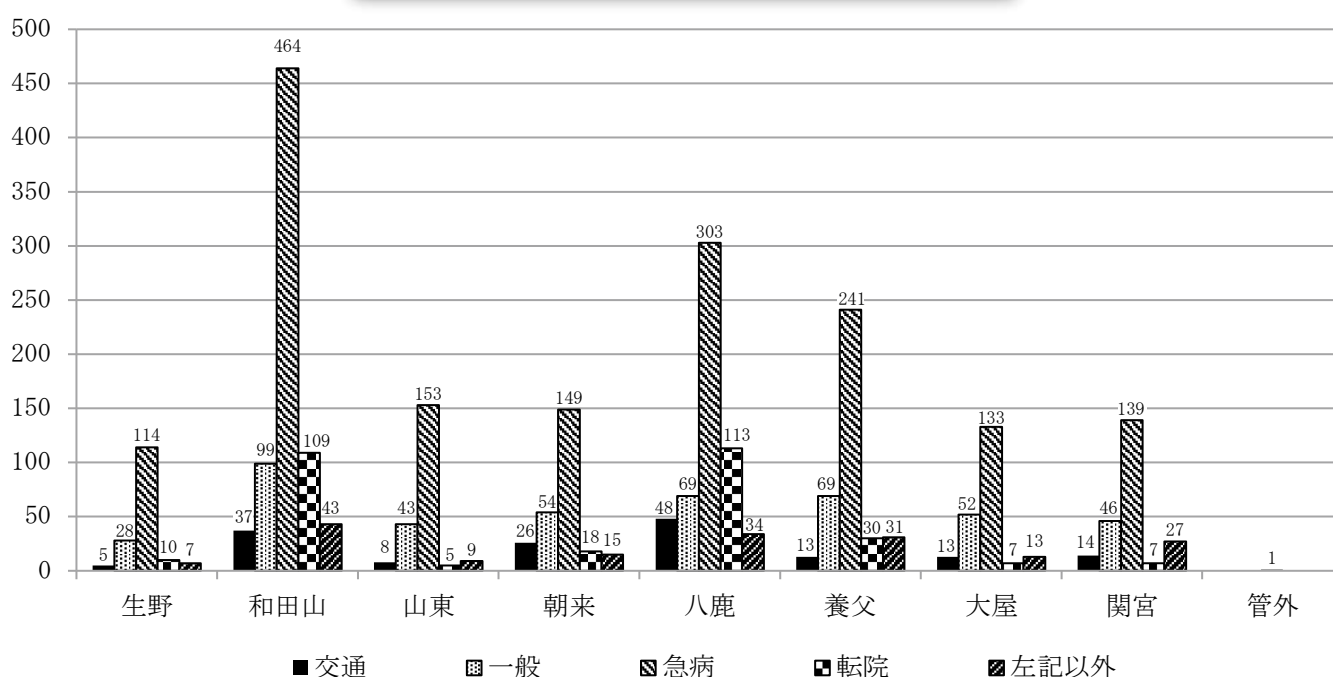
地域別の状況

(単位：件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	2,799	1,396	164	752	218	262	1,402	567	384	218	233	1
火 災	6						6	1	2	2	1	
自然災害												
水難事故	1						1				1	
交通事故	165	76	5	37	8	26	88	48	13	13	14	1
労働災害	20	4		3	1		16	7	3	1	5	
運動競技	7						7	1		2	4	
一般負傷	460	224	28	99	43	54	236	69	69	52	46	
加 害	8	4		3		1	4	1	1		2	
自損行為	23	14	1	11	2		9	6	2	1		
急 病	1,696	880	114	464	153	149	816	303	241	133	139	
転院搬送	299	142	10	109	5	18	157	113	30	7	7	
そ の 他	114	52	6	26	6	14	62	18	23	7	14	

地域別・事故種別発生状況

(件)



救 助

令和2年中の救助件数は60件で、前年(52件)と比較すると8件の増加となっています。

事故種別でみると、交通事故が20件、建物等による事故が8件、機械による事故が5件、水難事故が3件、火災が1件、その他の事故が23件となっています。

地域別の出動状況をみると、朝来市内は生野4件、和田山19件、山東4件、朝来4件、養父市内は八鹿11件、養父4件、大屋6件、関宮8件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は43件で、46人を救助しました。



救助の状況

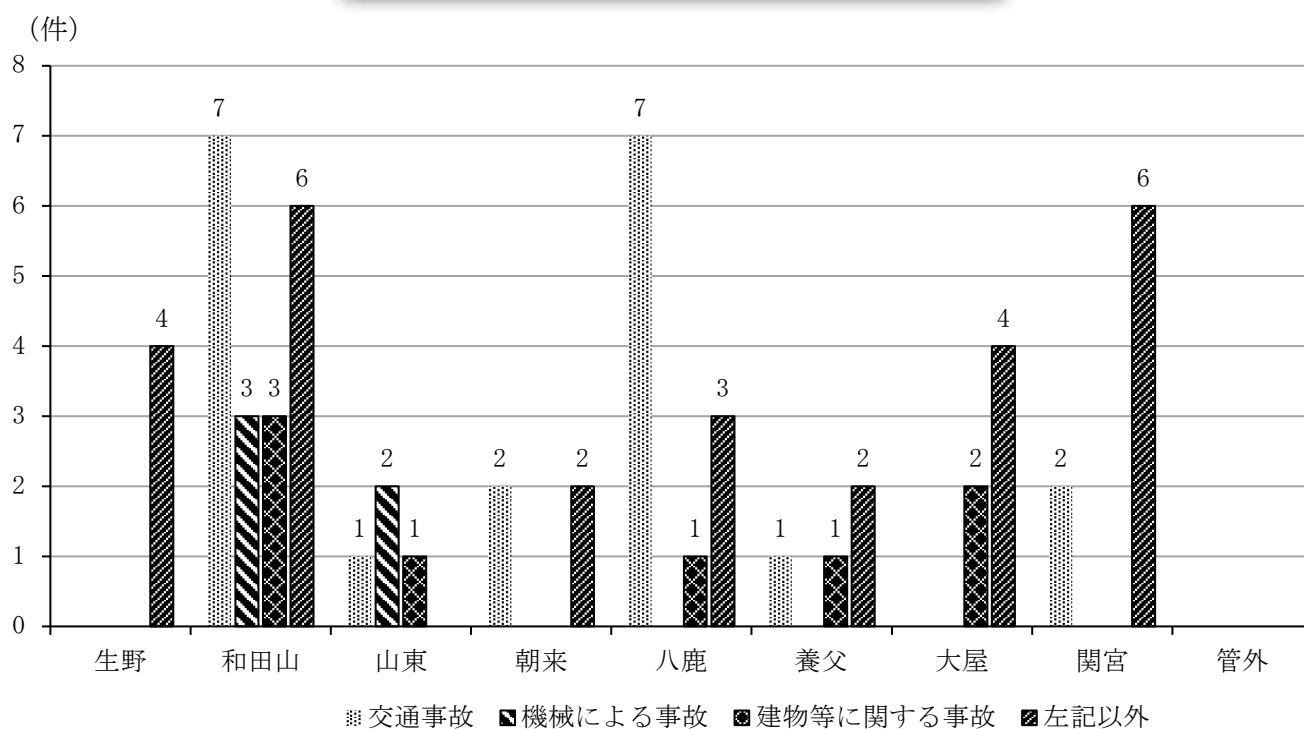
区 分	令和2年	令和元年	比較増減
	件 数	件 数	
総 数	60	52	8
火 災	1		1
交 通 事 故	20	27	△7
水 難 事 故	3	2	1
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故	5	1	4
建 物 等 に よ る 事 故	8	2	6
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	23	20	3

地域別の状況

(単位：件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	60	31	4	19	4	4	29	11	4	6	8	
火 災	1						1	1				
交 通 事 故	20	10		7	1	2	10	7	1		2	
水 難 事 故	3	2	2				1				1	
自 然 災 害												
機械による事故	5	5		3	2							
建物等による事故	8	4		3	1		4	1	1	2		
ガス及び酸欠事故												
破 裂 事 故												
その他の事故	23	10	2	6		2	13	2	2	4	5	
救助活動件数	43	21	4	14	2	1	22	9	4	3	6	
救 助 人 員	46	21	4	14	2	1	25	12	4	3	6	

地域別・事故種別発生状況



通 信

令和2年中の119番受信件数は3,263件で、その内訳は緊急通報が2,505件、緊急外通報が758件となっています。

前年と比較すると、緊急通報で244件、緊急外通報で30件の減少となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,237件で、前年と比較すると41件の減少となっています。



通信の状況

(単位：件)

区 分		令和元年	うち携帯電話	令和2年	うち携帯電話	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数		3,537	1,278	3,263	1,237	292	291	260	208	252	222	237	311	241	354	298	297
緊急通報	火災通報	18	10	12	8		1	2	1	2	2	1	2				1
	救急要請	2,545	927	2,327	878	227	208	183	154	184	154	180	233	174	213	207	210
	災害の第2報等	155	102	132	81	15	12	15	6	16	10	7	15	4	16	10	6
	その他誤報	31	8	34	8	2	2	5	2	4	2	2	1	1	2	2	9
	計	2,749	1,047	2,505	975	244	223	205	163	206	168	190	251	179	231	219	226
緊急外通報	通報訓練	345	24	296	18	11	28	29	9	16	25	19	14	24	37	45	39
	間 違 い	88	50	133	83	10	12	8	11	8	9	10	16	13	15	10	11
	問合わせ	62	33	73	39	4	7	5	7	7	7	5	8	6	4	8	5
	病院照会	48	29	25	14	2	1	1	2	5	2	2	3	3		3	1
	そ の 他	245	95	231	108	21	20	12	16	10	11	11	19	16	67	13	15
	計	788	231	758	262	48	68	55	45	46	54	47	60	62	123	79	71

統計資料編

管 理 編

管
理
編

令和 2 年度予算状況

(単位：千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比率 (%)
歳入	総計	1, 294, 709	△ 77, 912	1, 216, 797	100. 0
	分担金	856, 404	△ 14, 812	841, 592	69. 2
	使用料・手数料	3, 305	0	3, 305	0. 3
	国 県 支 出 金	0	0	0	0. 0
	繰入金	0	0	0	0. 0
	繰越金	0	0	0	0. 0
	地 方 債	435, 000	△ 63, 100	371, 900	30. 5
	諸 収 入 他	0	0	0	0. 0
歳出	総計	1, 294, 709	△ 77, 912	1, 216, 797	100. 0
	人件費	765, 627	△ 8, 927	756, 700	62. 2
	物件費	76, 273	△ 7, 208	69, 065	5. 7
	建設事業費	439, 479	△ 63, 477	376, 002	30. 9
	維持補修費	4, 241	2, 500	6, 741	0. 5
	補助費等	9, 089	△ 800	8, 289	0. 7
	公債費	0	0	0	0. 0

令和 2 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位：千円)

職員数 (A)	令和元年度給与費				一人当たりの 給与費(B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
96	332, 161	107, 788	134, 175	574, 123	5, 980

初任給の状況 (高校卒)

	消 防 職	一般行政職	国
初任給	1 級 8 号給	1 級 5 号給	1 級 5 号俸
金額	153, 900円	150, 600円	150, 600円

階級別勤続年数

(R3. 3. 31 現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	96	1	25	30	13	10	17
1 年 未 満	3						3
1 年 ～ 5 年	22				3	5	14
6 年 ～ 10 年	16			3	8	5	
11 年 ～ 15 年	10		1	7	2		
16 年 ～ 20 年	9			9			
21 年 ～ 25 年	12		2	10			
26 年 ～ 30 年	10		9	1			
31 年 ～ 35 年	7		7				
3 6 年 以 上	7	1	6				

年齢別職員構成

(R3. 3. 31 現在)

階級 年齢区分	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	96	1	25	30	13	10	17
2 0 歳 以 下	1						1
21 歳 ～ 25 歳	13					1	12
26 歳 ～ 30 歳	23				10	9	4
31 歳 ～ 35 歳	11			8	3		
36 歳 ～ 40 歳	9			9			
41 歳 ～ 45 歳	10			10			
46 歳 ～ 50 歳	13		10	3			
51 歳 ～ 55 歳	6		6				
5 6 歳 以 上	10	1	9				

研修派遣状況

(単位：人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	11		1	4	1	2	3
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	9			3	1	2	3
初 任 教 育	2						2
警 防 科	1				1		
特 殊 災 害 科 ※							
危 険 物 科	1			1			
火 災 調 査 科 ※							
救 急 科	1						1
救 助 科	1					1	
中 級 幹 部 科 ※	※						
潜 水 科 ※	※						
救 急 救 命 士 養 成 課 程	2			2			
山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	1					1	
惨 事 ス ト レ ス 研 修 ※	※						
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施なし

階級別資格取得状況

(R3. 3. 31 現在)

資 格 \ 階 級		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	81	1	23	28	12	9	8
	普 通	96	1	25	30	13	10	17
危 険 物 取 扱 者 (甲 種)		1			1			
危 険 物 取 扱 者 (乙 種)		81	1	23	27	11	10	9
消 防 設 備 士 (甲 種)		1					1	
消 防 設 備 士 (乙 種)		14	1	8	3	1	1	
特 殊 無 線 乙		96	1	25	30	13	10	17
救 急 救 命 士 資 格		38	1	13	17	2	2	3
気 管 挿 管 認 定		31		13	16	1	1	
薬 剤 投 与 認 定		34		13	17	2	2	
救急隊員資格 (Ⅱ 課程)		31	1	24	6			
救急隊員資格 (標準課程)		65		1	24	13	10	17
応 急 手 当 指 導 員		96	1	25	30	13	10	17
救助隊員資格 (1 号)		41	1	13	23	4		
潜 水 士		7		1	3	2	1	
小 型 船 舶 操 縦 士		23		5	11	3	3	1
玉 掛 技 能 者		50		8	21	8	8	5
移 動 式 ク レ ー ン		53		8	21	10	8	6
安 全 衛 生 推 進 者		4		4				
予 防 技 術 資 格 者		15		6	5	3	1	

令和元年度一般会計決算の概要

(歳入)

(単位：千円)

科 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B - A)
歳 入 合 計	946,567	938,664	△ 7,903
分担金及び負担金	862,061	856,248	△ 5,813
使用料・手数料	901	1,223	322
地 方 債	80,700	79,000	△ 1,700
繰 越 金			0
諸 収 入	2,905	2,193	△ 712

(歳出)

科 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	比較 (A - B)
歳 出 合 計	946,567	932,244	14,323
常 備 消 防 費	852,645	844,297	8,348
消 防 施 設 費	93,922	87,947	5,975

歳 入 総 額 938,664 千円

歳 出 総 額 932,244 千円

歳入歳出差引残額 6,420 千円

消防相互応援協定の締結状況

(令和3年3月31日現在)

締結年月日	内 容
平成 25 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 25 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成 29 年 1 月 13 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成 29 年 3 月 25 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)
平成 31 年 3 月 26 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)

予 防 編

予
防
編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

(R3.3.31現在)

用 途 別		防 火 対 象 物									3 階 以 上 対 象 物								
		総数	朝 来 市				養 父 市				総数	朝 来 市				養 父 市			
			生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮
総 数		3,126	217	910	286	227	632	345	255	254	394	28	122	25	13	113	26	8	59
1	イ 映 画 館 等	2	1	1							2	1	1						
	ロ 集 会 場 等	189	9	38	22	20	32	20	20	28	7		4		1	1	1		
2	イ キャバレー等																		
	ロ 遊 技 場 等	3		2			1												
	ニ カラオケボックス等																		
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	68	1	25	7	2	9	14	4	6	4		1	1		2			
4	店 舗 等	144	6	70	10	13	18	19	2	6	6		4			2			
5	イ 旅館・ホテル等	120	4	16	13	7	8	4	6	62	50		8	1		1	1	1	38
	ロ 共 同 住 宅 等	329	26	148	31	18	55	35	6	10	85	8	26	10	1	27	8		5
6	イ 病 院 等	44	2	17	2	5	12	5		1	8		2		4	2			
	ロ グループホーム等	41	3	7	6	7	4	4	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	96	7	23	12	13	19	11	9	2	2				1		1		
	ニ 幼 稚 園 等	5		5							2		2						
7	学 校 等	108	18	17	7	6	45	7	4	4	38	6	11	2	1	11	2	2	3
8	図 書 館 等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	95	12	9	3	2	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工 場 等	504	39	153	53	44	99	58	34	24	25	6	4	1	1	7	3		3
	ロ 映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ 駐 車 場 等	44	1	12	4	6	11	3	2	5									
14	倉 庫	272	27	86	32	17	60	25	12	13	9	1	1	2		5			
15	その他の事業所	738	43	173	60	49	155	81	121	56	70	3	24	5	1	20	7	4	6
16	イ 複合用途(特定)	160	2	59	10	5	49	17	7	11	47	1	20	2	1	20	1	1	1
	ロ 複合用途(非特定)	110	6	43	6	4	25	15	4	7	31	1	11	1	1	13	2		2
17	文化財建造物	25	3	1	6	6	7	1		1	1					1			

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

（R3.3.31現在）

用 途 別		査 察 件 数			防 火 管 理 者									消 防 計 画					
					対 象 数			選 任 数			選 任 率 (%)			計画届出数			届 出 率 (%)		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市
総 数		497	258	239	790	397	393	726	366	360	92	92	92	704	362	342	89	91	87
1	イ 映 画 館 等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ 集 会 場 等	26	16	10	175	83	92	119	54	65	68	65	71	115	54	61	66	65	66
2	イ キャバレー等																		
	ロ 遊 技 場 等	3	2	1	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
	ニ カラオケボックス等																		
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	21	14	7	58	29	29	57	29	28	98	100	97	54	28	26	93	97	90
4	店 舗 等	25	11	14	92	57	35	91	57	34	99	100	97	90	56	34	98	98	97
5	イ 旅館・ホテル等	154	77	77	79	17	62	79	17	62	100	100	100	79	17	62	100	100	100
	ロ 共 同 住 宅 等	9	6	3	16	10	6	16	10	6	100	100	100	16	10	6	100	100	100
6	イ 病 院 等	4		4	17	12	5	17	12	5	100	100	100	17	12	5	100	100	100
	ロ グループホーム等	11	3	8	27	16	11	27	16	11	100	100	100	27	16	11	100	100	100
	ハ デイサービス・保育所	16	13	3	68	35	33	66	35	31	97	100	94	66	35	31	97	100	94
	ニ 幼 稚 園 等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
7	学 校 等	23	1	22	33	17	16	33	17	16	100	100	100	33	17	16	100	100	100
8	図 書 館 等	3	2	1	11	8	3	11	8	3	100	100	100	11	8	3	100	100	100
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	3	1	2	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場	1	1																
11	神社・寺院等				4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ 工 場 等	62	47	15	27	21	6	27	21	6	100	100	100	26	21	5	96	100	83
	ロ 映画スタジオ等	1	1		1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ 駐 車 場 等	2	2																
14	倉 庫	16	14	2	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
15	その他の事業所	68	27	41	79	36	43	77	35	42	97	97	98	73	34	39	92	94	91
16	イ 複合用途（特定）	45	18	27	81	41	40	79	40	39	98	98	98	70	39	31	86	95	78
	ロ 複合用途（非特定）	2		2	6	3	3	6	3	3	100	100	100	6	3	3	100	100	100
17	文化財建造物				2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100

確認申請処理状況

(R3.3.31現在)

種 別	総数	朝来市	養父市	同 意	朝来市	養父市	指導による 同意	朝来市	養父市	不同意	朝来市	養父市
総 数	34	19	15	14	5	9	20	14	6			
《工 事 別》												
新 築	24	15	9	12	5	7	12	10	2			
増 築	10	4	6	2		2	8	4	4			
改 築												
移 転												
修 繕												
模 様 替												
用 途 変 更												
耐 火 構 造	1		1				1		1			
準 耐 火 構 造	6	6		1	1		5	5				
そ の 他	27	13	14	13	4	9	14	9	5			

消防教室実施状況

(R3.3.31現在)

実 施 区 分		対 象 数			参加人員			時 間			消防職員		
		総数	朝来	養父	総数	朝来	養父	全体	朝来	養父	総数	朝来	養父
総 数		48	12	36	2,601	770	1,831	43:05	10:20	32:45	132	23	109
地 区		3		3	227		227	2:40		2:40	7		7
婦 人 ク ラ ブ		8		8	23		23	11:15		11:15	8		8
老 人 ク ラ ブ													
P T A													
学 校		13	2	11	1,549	227	1,322	11:25	0:45	10:40	67	4	63
幼 ・ 保 育 所		7	6	1	622	468	154	6:10	5:20	0:50	14	10	4
事 業 所	公 共 施 設	3	1	2	47	31	16	1:55	0:35	1:20	6	3	3
	病院・福祉施設												
	旅館・ホテル	2	2		25	25		2:10	2:10		5	5	
	店 舗 等	6		6	49		49	2:15		2:15	12		12
	工 場 等	4	1	3	43	19	24	3:20	1:30	1:50	6	1	5
消 防 団													
そ の 他		2		2	16		16	1:55		1:55	7		7

※ 普通救命講習会は含まない。(55頁参照)

危険物施設数及び立入検査回数

(R3.3.31現在)

危険物施設		総 数	朝 来 市					養 父 市					立入検査 回数	
			小 計	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	小 計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	朝 来 署	養 父 署
総 数		302	145	35	64	28	18	157	62	30	11	54	96	64
製 造 所		3	2	2				1		1			2	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	33	19	7	8	3	1	14	9	2	2	1	20	5
	屋外タンク貯蔵所	34	25	9	8	5	3	9	4			5	26	4
	屋内タンク貯蔵所	14	4	3		1		10	1	7		2	4	1
	地下タンク貯蔵所	90	29	3	16	6	4	61	17	5	3	36	3	13
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1								
	移動タンク貯蔵所	19	10	1	2	3	4	9	5	3		1	10	9
	屋 外 貯 蔵 所	4	4	2	2									
取 扱 所	給 油 取 扱 所	48	21	2	12	5	2	27	15	6	3	3	20	26
	一 般 取 扱 所	56	30	6	16	4	4	26	11	6	3	6	11	5

危険物施設設置許可及び変更許可の状況

(R3.3.31現在)

(R3.3.31現在)

危険物施設	総 数	変 更 許 可										設置許可	
		構 造 に 関するもの		付属機器に 関するもの		配 管 に 関するもの		タンクに 関するもの		そ の 他			
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	28	5	1	8	2	2	1	3	2	3			1
製 造 所													
屋 内 貯 蔵 所	1									1			
屋外タンク貯蔵所	3					1	1						1
屋内タンク貯蔵所													
地下タンク貯蔵所	3							3					
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所													
屋 外 貯 蔵 所													
給 油 取 扱 所	8	3	1	1					2	1			
一 般 取 扱 所	13	2		7	2	1				1			

市別・数量別危険物施設数

(R3.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以下		5倍を超え 10倍以下		10倍を超え 50倍以下		50倍を超え 100倍以下		100倍を超え 200倍以下		200倍を超 えるもの	
		朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市
総 数	302	67	48	30	37	28	53	4	8	9	7	7	4
製 造 所	3					1		1	1				
貯 蔵 所	195	51	34	20	31	18	35	1	3	2			
屋内貯蔵所	33	11	5	5	5	2	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	34	7	3	6		10	6	1		1			
屋内タンク貯蔵所	14	2	4	2	6								
地下タンク貯蔵所	90	18	13	7	20	4	27		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	19	10	9										
屋 外 貯 蔵 所	4	2				2							
取 扱 所	104	16	14	10	6	9	18	2	4	7	7	7	4
給油取扱所(営業用)	30		1					1	3	7	7	7	4
給油取扱所(自家用)	18	3			2	3	10						
一 般 取 扱 所	56	13	13	10	4	6	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(R3.3.31現在)

危険物施設	総 数	1類		2類		3類		4類		5類		6類		混在	
		朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市	朝 来 市	養 父 市
総 数	302				1			143	152	1	2			1	2
製 造 所	3							2							1
貯 蔵 所	195				1			91	100		2			1	
屋内貯蔵所	33				1			18	11		2			1	
屋外タンク貯蔵所	34							25	9						
屋内タンク貯蔵所	14							4	10						
地下タンク貯蔵所	90							29	61						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	19							10	9						
屋 外 貯 蔵 所	4							4							
取 扱 所	104							50	52	1					1
給油取扱所(営業用)	30							15	15						
給油取扱所(自家用)	18							6	12						
一 般 取 扱 所	56							29	25	1					1

各種届出等受理状況

(R3. 3. 31現在)

届 出 別		総 数	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任（解任）届出書		140	84	56
消防計画届出書		208	115	93
消防用設備等着工届出書		55	37	18
消防用設備等工事計画届出書		38	24	14
消防用設備等設置届出書		171	124	47
消防用設備等緩和願				
消防用設備等点検結果報告書		607	323	284
防火対象物定期点検結果報告書		52	27	25
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		85	63	22
火を使用する 設 備 等 の 設 置 届 出 書	熱風炉			
	炉・かまど			
	ボイラー・給湯湯沸設備	14	8	6
	乾燥設備	1	1	
	サウナ設備	1		1
	温風暖房機			
電 気 設 備 設 置 届 出 書	変電設備	10	7	3
	発電設備	5	1	4
	蓄電池設備	17	8	9
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書				
総 数		1, 404	822	582

警 防 編

警
防
編

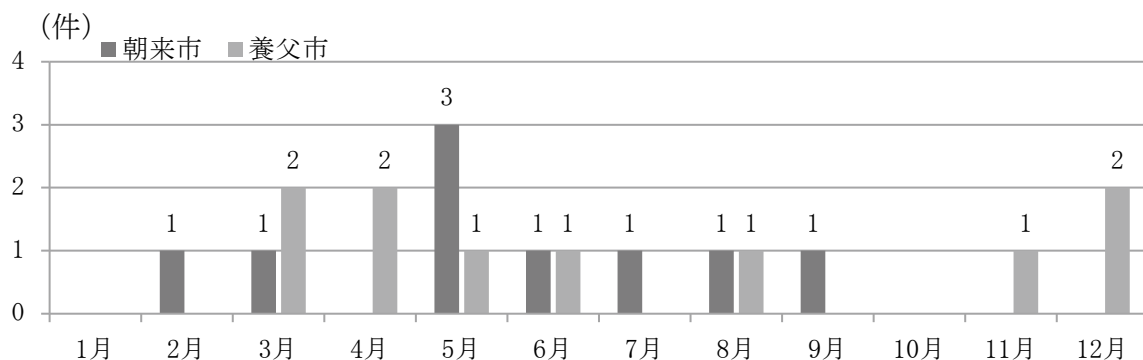
年次別火災発生状況

区 分		年 別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年
出 火 件 数	総 数		29	20	26	24	19
	朝 来 市	小 計	19	10	21	11	9
		建 物 火 災	6	6	8	3	1
		林 野 火 災	1	1			1
		車 両 火 災	2	1	2	1	1
		その他の火災	10	2	11	7	6
	養 父 市	小 計	10	10	5	13	10
		建 物 火 災	3	8	2	6	6
		林 野 火 災	1			2	
		車 両 火 災	1		1		
		その他の火災	5	2	2	5	4
焼 損 棟 数	総 数		10	17	12	12	9
	朝 来 市	小 計	7	8	10	4	1
		全 焼	3	3	3	1	
		半 焼		1		1	
		部 分 焼	2	1	1	2	
		ぼ や	2	3	6		1
	養 父 市	小 計	3	9	2	8	8
		全 焼		2		3	2
		半 焼				2	
		部 分 焼		3		2	2
		ぼ や	3	4	2	1	4
焼 損 面 積	総 数	建 物【㎡】	652	633	1,019	1,923	219
		林 野 (a)	34	13		42	1,930
	朝 来 市	建 物【㎡】	652	317	1,019	478	
		林 野 (a)	10	13			1,900
	養 父 市	建 物【㎡】		316		1,445	219
		林 野 (a)	24			42	30

区 分		年 別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年
り 災 世 帯	総 数		8	6	5	13	3
	朝 来 市	小 計	5	2	5	4	
		全 損	2	1	2	1	
		半 損					
		小 損	3	1	3	3	
	養 父 市	小 計	3	4		9	3
		全 損		1		5	1
		半 損				1	
		小 損	3	3		3	2
り 災 人 員	総 数		11	17	13	22	5
	朝 来 市		7	5	13	11	
	養 父 市		4	12		11	5
損 害 額 (千円)	総 額		27,232	80,592	37,389	94,585	49,711
	朝 来 市	小 計	25,851	65,116	37,341	28,337	37,477
		建 物	25,612	11,156	34,801	25,836	1,069
		林 野		238			35,722
		車 両	238	53,068	2,475	2,500	433
		そ の 他	1	654	65	1	253
	養 父 市	小 計	1,381	15,476	48	66,248	12,234
		建 物	28	15,476	9	39,136	12,178
		林 野	440			91	27
		車 両	870		39	23,389	
		そ の 他	43			3,632	29
死 傷 者	総 数	死 者	1	1	2		1
		負 傷 者	3	8	6	4	4
	朝 来 市	死 者	1		2		
		負 傷 者	2		5		
	養 父 市	死 者		1			1
		負 傷 者	1	8	1	4	4

月別火災発生状況

種 別 \ 月 別		総 数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数		19		1	3	2	4	2	1	2	1		1	2
朝 来 市	小 計	9		1	1		3	1	1	1	1			
	建物火災	1								1				
	林野火災	1					1							
	車両火災	1							1					
	その他の火災	6		1	1		2	1			1			
養 父 市	小 計	10			2	2	1	1		1			1	2
	建物火災	6			1			1		1			1	2
	林野火災													
	車両火災													
	その他の火災	4			1	2	1							

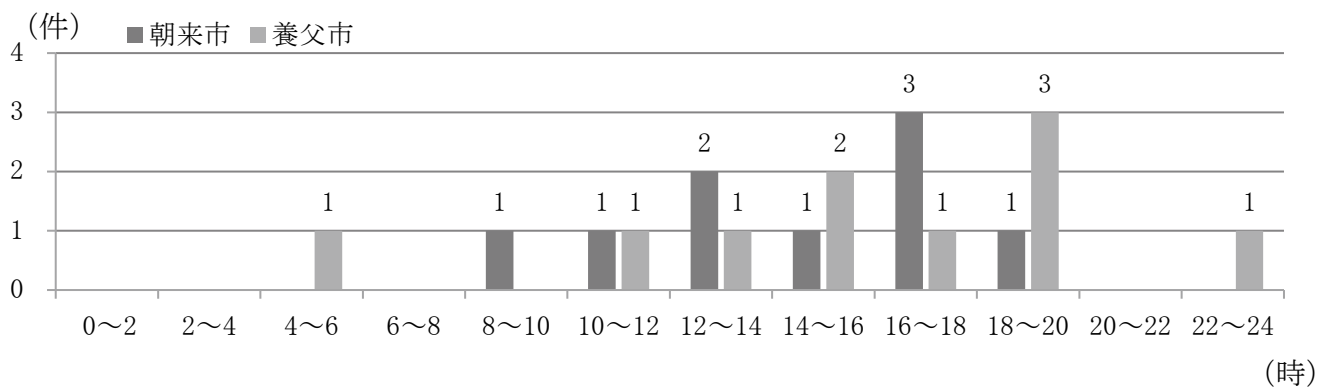


曜日別火災発生状況

種 別 \ 曜日別		総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数		19	4	2	1	5	4	2	1
朝 来 市	小 計	9	1	1	1	3	3		
	建物火災	1				1			
	林野火災	1					1		
	車両火災	1					1		
	その他の火災	6	1	1	1	2	1		
養 父 市	小 計	10	3	1		2	1	2	1
	建物火災	6	1	1		1		2	1
	林野火災								
	車両火災								
	その他の火災	4	2			1	1		

時間別火災発生状況

種 別 \ 時間別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		19			1		1	2	3	3	4	4		1
朝 来 市	小 計	9					1	1	2	1	3	1		
	建 物 火 災	1										1		
	林 野 火 災	1							1					
	車 両 火 災	1								1				
	その他の火災	6					1	1	1		3			
養 父 市	小 計	10			1			1	1	2	1	3		1
	建 物 火 災	6			1			1			1	2		1
	林 野 火 災													
	車 両 火 災													
	その他の火災	4							1	2		1		



使用した消防水利

消防水利	令 和 2 年					令 和 元 年
	総 数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
総 数	8	2	1	1	4	19
自然水利	1		1			3
防火水槽						2
消 火 栓	4	1			3	10
積載水等	3	1		1	1	4

(事後聞知6件及び、放水なしの5件は除く)

覚知から現場到着までの所要時間

時間別 地区別		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平均(分)
総 数		13		6	3	1	3	24.7
朝 来 市	小 計	7		4	2		1	29.6
	生 野							
	和田山	5		4	1			10.2
	山 東	1			1			11
	朝 来	1					1	145
養 父 市	小 計	6		2	1	1	2	19
	八 鹿	3		1	1	1		13.3
	養 父	1					1	25
	大 屋	1		1				10
	関 宮	1					1	39

(事後聞知6件を除く) ※朝来の1件については、山林内であり現場到着まで145分を要したものの。

放水開始から鎮火までの所要時間

時間別 地区別		総 数	5分 以内	6分～ 10分	11分～ 20分	21分～ 30分	31分～ 40分	41分～ 50分	51分～ 60分	61分 以上	平均 (分)
総 数		8		2	2		1	2			1,461.6
朝 来 市	小 計	5		1	2		1				2,317.6
	生 野										
	和田山	3			2		1				20.3
	山 東	1		1							7
	朝 来	1								1	11,520
養 父 市	小 計	3		1				2			35
	八 鹿	2		1				1			28
	養 父										
	大 屋										
	関 宮	1						1			49

(事後聞知6件、放水なし5件は除く。) ※朝来の1件については9日間(11,520分)を要したものの。

出 火 原 因

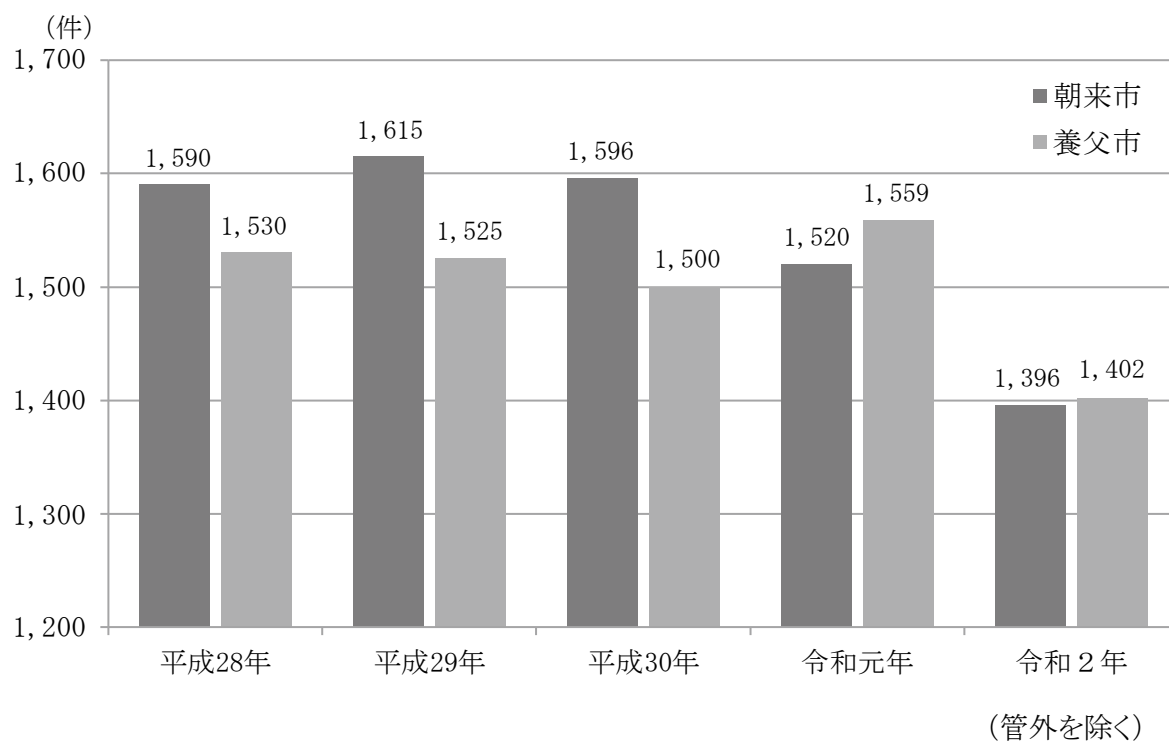
区 分		令 和 2 年					令 和 元 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		19	7	1	1	10	24	9	2	1	12
裸 火	た ば こ	1	1								
	虫 焼 火										
	焼 却 火	8	1			7	10	1	1		8
	マ ッ チ										
	線 香										
人 的	火 あ そ び										
	放火(放火の疑い)	1				1					
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ										
	こ ん ろ	1	1				1	1			
	石 油 機 器										
	ガ ス 機 器										
	乾 燥 器						1	1			
電 気 関 係	電 気 溶 断 器						1	1			
	こ ん ろ						1	1			
	電 気 装 置	2	2								
	静 電 気	1	1								
	そ の 他										
車 両	ブ レ ー キ	1			1						
	エ ン ジ ン										
	排 気 管										
	そ の 他						1			1	
そ の 他	取 灰						1	1			
	スプレー缶の過熱	1				1					
	焼 却 炉						1				1
	落 雷	1		1							
	不 明	2	1			1	7	3	1		3
	そ の 他										

用途別火災発生状況

用途別 区分		火災発生件数 (件)	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)	焼 損 棟 数 (棟)	死 傷 者	
			建 物				死 者 (人)	負 傷 者 (人)
			床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)				
総 数		19	219	21	49,711	9	1	4
建 物 火 災	住 宅	3	208		11,944	3	1	1
	遊 技 場							
	飲 食 店							
	店 舗							
	旅 館・ホ テ ル							
	病院・福祉施設							
	学 校							
	神 社 ・ 寺 院							
	工 場・作 業 場	2		6	1,247	2		
	倉 庫	1		1	2	1		
	車 庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署							
そ の 他	1			27	1		1	
林 野 火 災		1			35,722			
車 両 火 災		1			682			
そ の 他 の 火 災	田 畑	2	11	14	54	2		1
	休 耕 田	2						
	公 園	1			3			
	河 川 敷	2						
	そ の 他	3			30			1

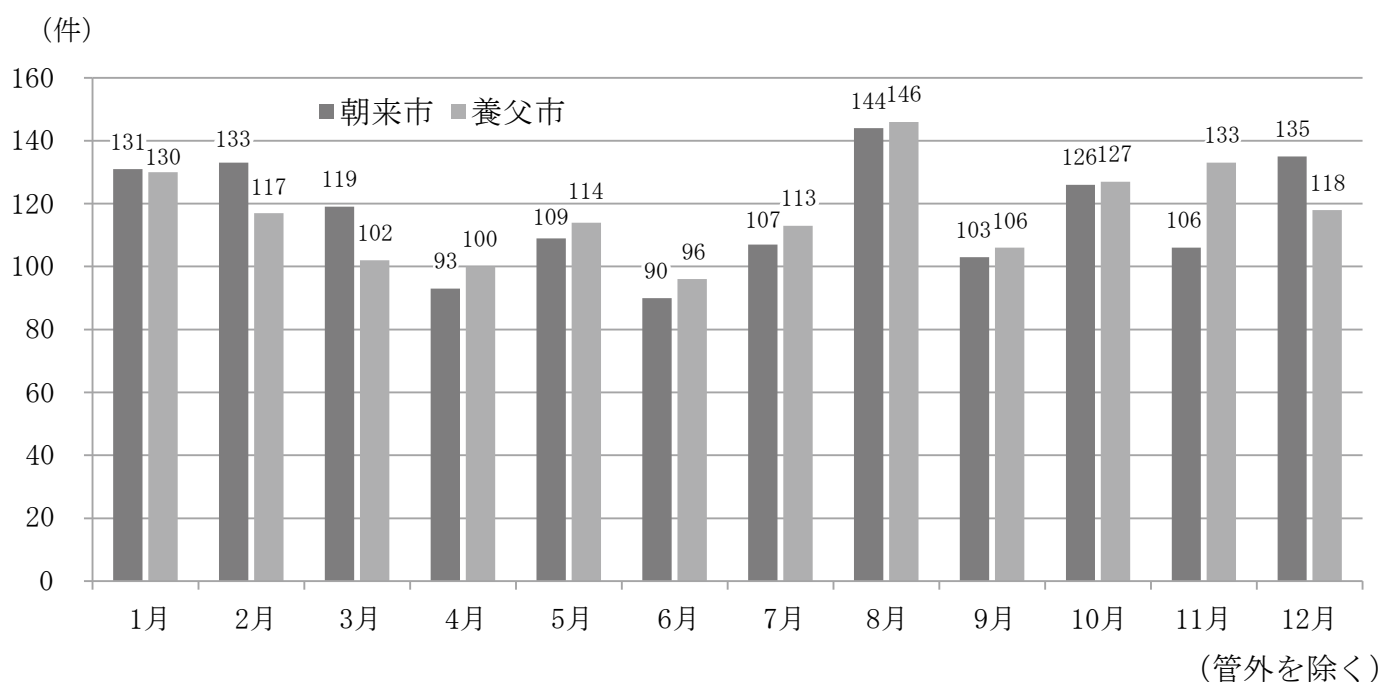
年次別救急発生状況

種 別 \ 年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年
総 数		3, 123	3, 144	3, 096	3, 079	2, 799
朝 来 市	小 計	1, 590	1, 615	1, 596	1, 520	1, 396
	交通事故	140	135	97	131	76
	一般負傷	250	262	235	236	224
	急 病	997	997	1, 046	931	880
	転院搬送	102	112	111	149	142
	そ の 他	101	109	107	73	74
養 父 市	小 計	1, 530	1, 525	1, 500	1, 559	1, 402
	交通事故	122	79	113	91	88
	一般負傷	241	281	257	255	236
	急 病	869	836	885	952	816
	転院搬送	203	203	154	161	157
	そ の 他	95	126	91	100	105
管 外		3	4			1



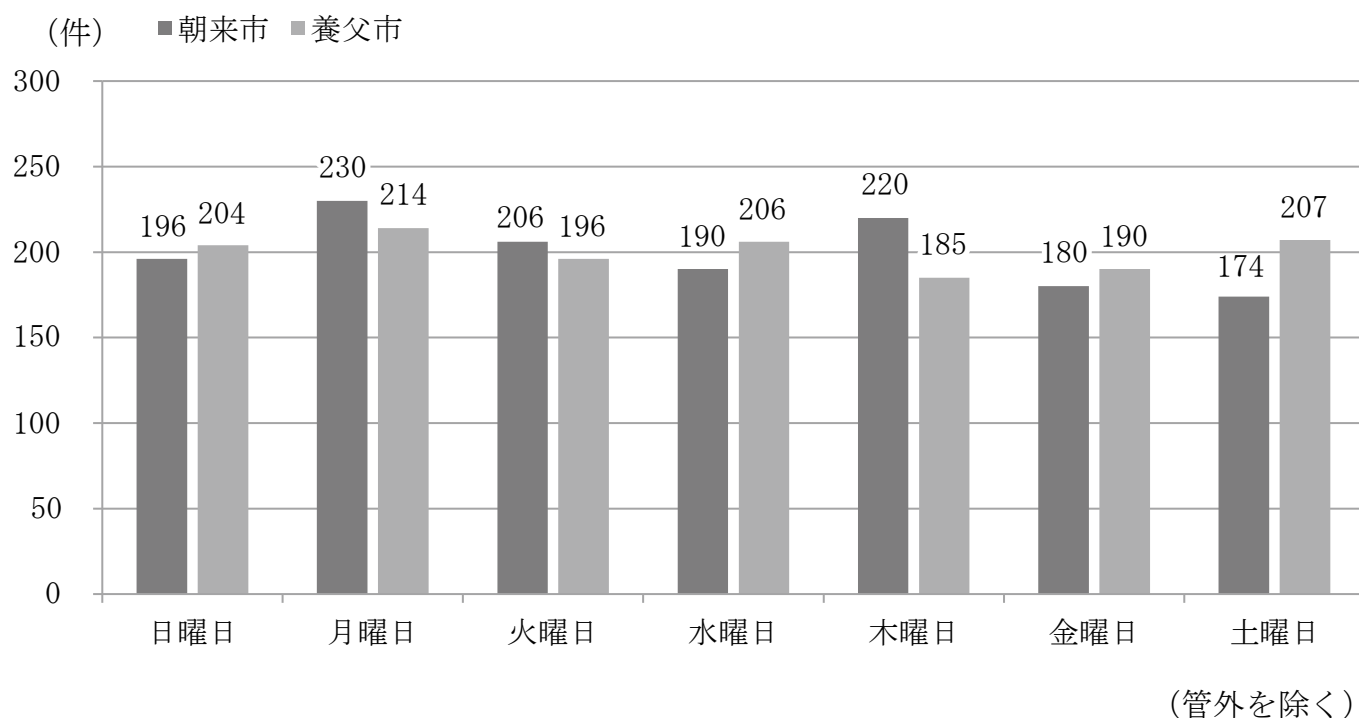
月別救急発生状況

種 別 \ 月 別		総数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
総 数		2,799	261	250	221	193	223	186	220	290	209	253	240	253
朝 来 市	小 計	1,396	131	133	119	93	109	90	107	144	103	126	106	135
	交通事故	76	2	16	3	4	8	4	5	10	1	9	8	6
	一般負傷	224	17	14	22	12	23	8	18	24	22	19	18	27
	急 病	880	90	89	67	66	63	63	70	89	63	79	60	81
	転院搬送	142	12	11	18	5	12	9	7	13	8	14	16	17
	そ の 他	74	10	3	9	6	3	6	7	8	9	5	4	4
養 父 市	小 計	1,402	130	117	102	100	114	96	113	146	106	127	133	118
	交通事故	88	5	9	7	5	9	8	5	15	4	8	7	6
	一般負傷	236	21	20	15	15	19	11	17	19	25	25	25	24
	急 病	816	85	62	58	61	65	57	67	90	55	75	73	68
	転院搬送	157	17	14	14	12	12	15	16	14	12	6	16	9
	そ の 他	105	2	12	8	7	9	5	8	8	10	13	12	11
管外	小 計	1											1	



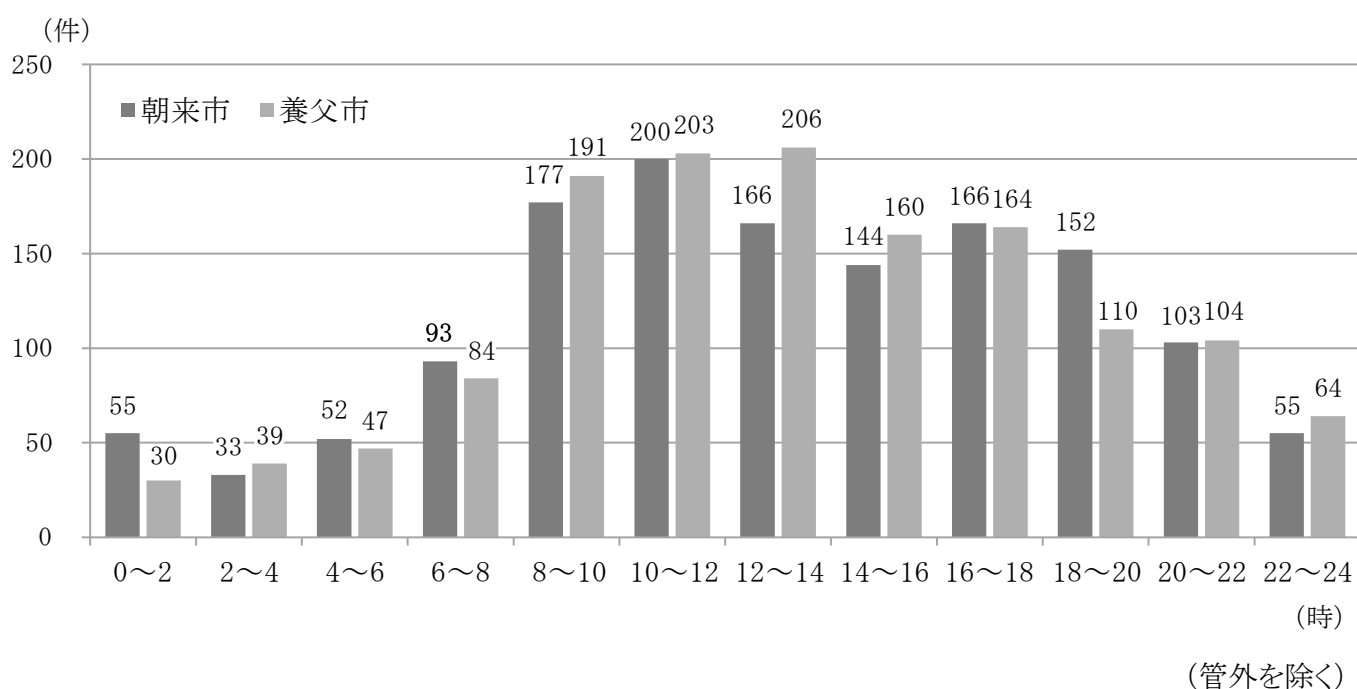
曜日別救急発生状況

種 別 \ 曜日別		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数		2,799	400	444	402	396	405	370	382
朝 来 市	小 計	1,396	196	230	206	190	220	180	174
	交通事故	76	8	4	14	15	10	13	12
	一般負傷	224	36	36	22	29	44	26	31
	急 病	880	133	143	136	110	135	114	109
	転院搬送	142	6	32	18	23	23	22	18
	そ の 他	74	13	15	16	13	8	5	4
養 父 市	小 計	1,402	204	214	196	206	185	190	207
	交通事故	88	12	18	9	7	14	12	16
	一般負傷	236	39	30	31	37	36	26	37
	急 病	816	125	122	112	122	107	107	121
	転院搬送	157	11	31	28	20	19	26	22
	そ の 他	105	17	13	16	20	9	19	11
管外	小 計	1							1



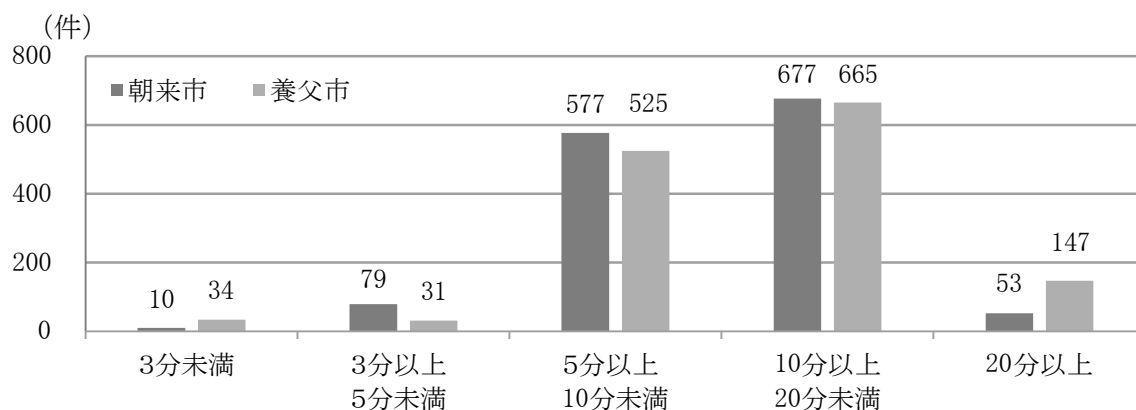
時間別救急発生状況

種 別 \ 時間別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		2,799	85	72	99	177	368	404	372	304	330	262	207	119
朝来市	小 計	1,396	55	33	52	93	177	200	166	144	166	152	103	55
	交通事故	76	2	1		6	7	12	8	13	14	7	6	
	一般負傷	224	4	3	7	13	38	25	21	29	33	28	15	8
	急 病	880	49	29	45	71	106	110	98	72	86	98	73	43
	転院搬送	142				1	13	41	24	17	26	15	4	1
	そ の 他	74				2	13	12	15	13	7	4	5	3
養父市	小 計	1,402	30	39	47	84	191	203	206	160	164	110	104	64
	交通事故	88	1	3		5	8	9	22	13	17	4	5	1
	一般負傷	236	4	4	5	13	36	36	28	32	32	15	22	9
	急 病	816	24	31	38	62	110	90	100	86	83	75	69	48
	転院搬送	157	1		3	1	21	41	37	11	20	12	5	5
	そ の 他	105		1	1	3	16	27	19	18	12	4	3	1
管外	小 計	1						1						



覚知から現場到着までの所要時間状況

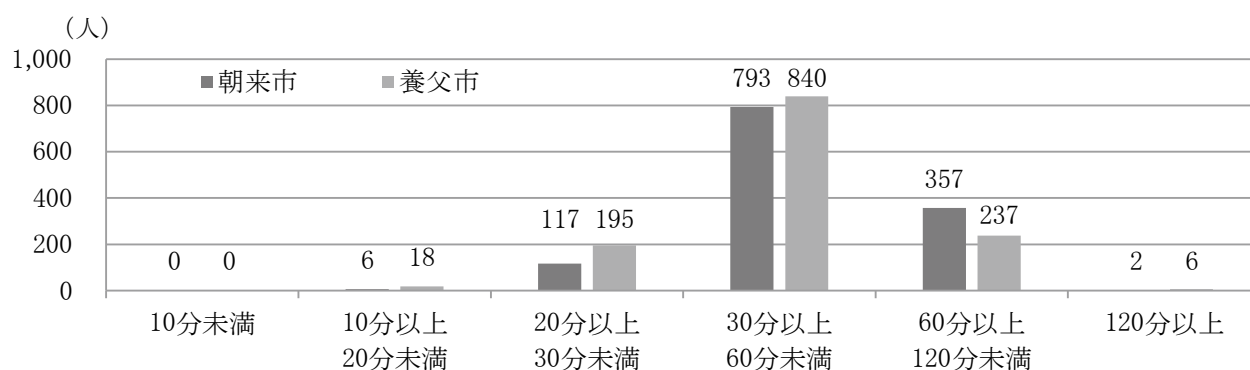
発生場所別 \ 時 間	総数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総 数	2,799	44	110	1,102	1,343	200	11.0
朝 来 市	1,396	10	79	577	677	53	10.2
養 父 市	1,402	34	31	525	665	147	11.7
管 外	1				1		15.0



(管外を除く)

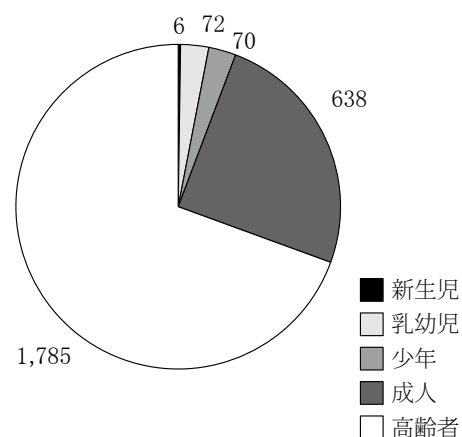
覚知から医療機関収容までの所要時間状況

発生場所別 \ 時 間	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総 数	2,571		24	312	1,633	594	8	48.8
朝 来 市	1,275		6	117	793	357	2	51.7
養 父 市	1,296		18	195	840	237	6	46.0
管 外								



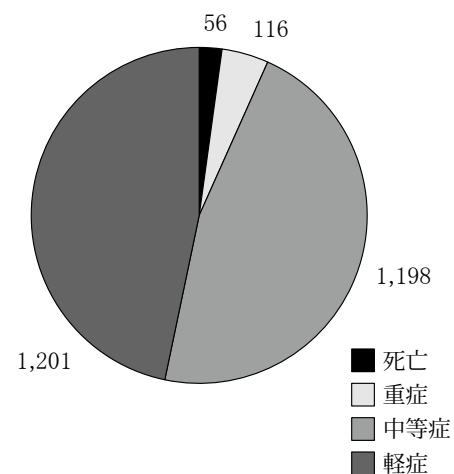
年齢区分別搬送人員

種別\区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総 数	2,571	6	72	70	638	1,785
交通事故	153		6	6	81	60
一般負傷	433		18	13	73	329
急 病	1,634	1	48	43	384	1,158
転院搬送	298	5		2	67	224
そ の 他	53			6	33	14



傷病程度別搬送人員

種別\区分	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総 数	2,571	56	116	1,198	1,201	
交通事故	153	1	2	39	111	
一般負傷	433	7	24	205	197	
急 病	1,634	44	76	683	831	
転院搬送	298	1	9	249	39	
そ の 他	53	3	5	22	23	



※ 死 亡・・・初診時、死亡と診断されたもの
 重 症・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症・・・入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症・・・入院加療を必要としないもの
 その他・・・医師の診断のないもの

救急隊の行った主な応急処置状況

種別\処置	固定	酸素吸入	心肺蘇生	血圧測定	血中酸素	心電図	除細動	静脈路確保	薬剤投与	器具による気道確保
総 数	333	716	73	2,448	2,496	2,424	6	107	25	82
交通事故	124	50	2	148	150	129		1		2
一般負傷	146	80	9	409	422	390	1	10	2	9
急 病	31	483	55	1,561	1,587	1,583	5	88	22	63
そ の 他	32	103	7	330	337	322		8	1	8

事故種別・収容医療機関状況

医療機関		種 別	総 数	比率(%)	交通事故	一般負傷	急 病	転院搬送	その他
総 数			2,571	100	153	433	1,634	298	53
管内	小 計		1,170	45.5	79	284	729	60	18
	病 院	八 鹿 病 院	946	36.7	69	187	618	54	18
		朝来医療センター	221	8.5	10	97	109	5	
		その他の病院	1	0.1			1		
	診 療 所 等		1	0.1			1		
	そ の 他		1	0.1				1	
管外	小 計		1,401	54.5	74	149	905	238	35
	病 院	豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)	1,282	49.8	71	130	845	201	35
		神崎総合病院	61	2.4	2	17	36	6	
		その他の病院	58	2.3	1	2	24	31	
	診 療 所 等								

地域別・収容医療機関状況

医療機関		市 別	総 数	朝来市	比率(%)	養父市	比率(%)	管 外
総 数			2,571	1,275	100	1,296	100	
朝来市内医療機関	小 計		223	203	15.9	20	1.6	
	朝来医療センター		221	201	15.7	20	1.6	
	その他の病院		1	1	0.1			
	診 療 所 等		1	1	0.1			
	そ の 他							
養父市内医療機関	小 計		947	308	24.2	639	49.3	
	八 鹿 病 院		946	308	24.2	638	49.2	
	その他の病院							
	診 療 所 等							
	そ の 他		1			1	0.1	
管外	小 計		1,401	764	59.9	637	49.1	
	豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)		1,282	655	51.4	627	48.3	
	神崎総合病院		61	60	4.7	1	0.1	
	その他の病院		58	49	3.8	9	0.7	
	診 療 所 等							

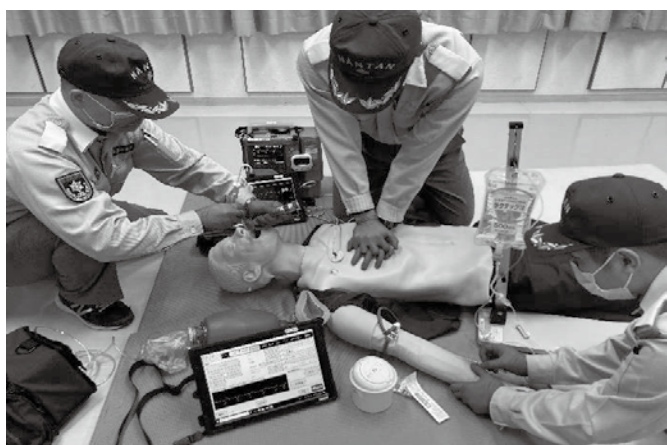
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

月別 \ 種別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,660	166	154	118	125	126	102	146	170	116	140	143	154
交通事故	88	4	12	6	5	12	6	4	16	2	4	8	9
一般負傷	121	12	7	12	5	10	8	10	16	9	12	9	11
急病	1,324	142	124	88	108	97	80	120	131	88	111	113	122
転院搬送	79	7	7	8	3	6	4	7	5	7	7	8	10
その他	48	1	4	4	4	1	4	5	2	10	6	5	2

普通救命講習実施状況

区 分	実施回数（回）	受講者数（人）
学 校 関 係	2	61
事 業 所 等	1	18
消 防 団	1	35
そ の 他	1	10
総 数	5	124

※令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月以降未実施



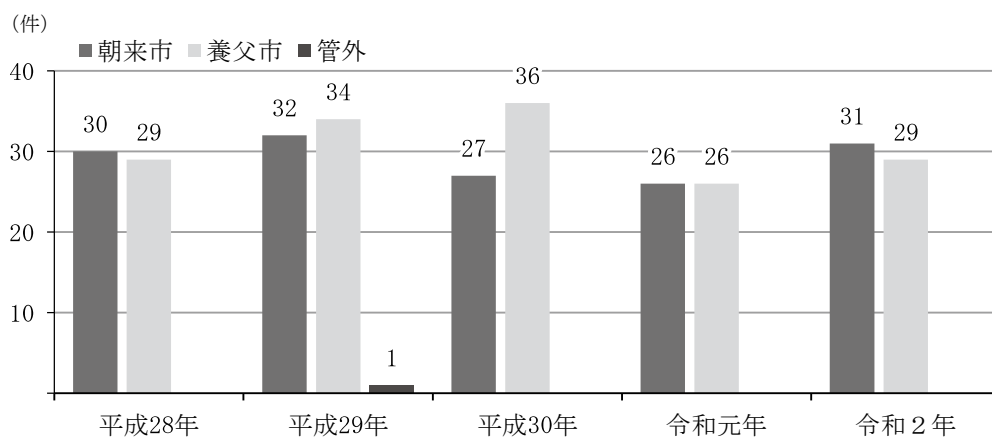
※署内救急訓練



※救急講習会

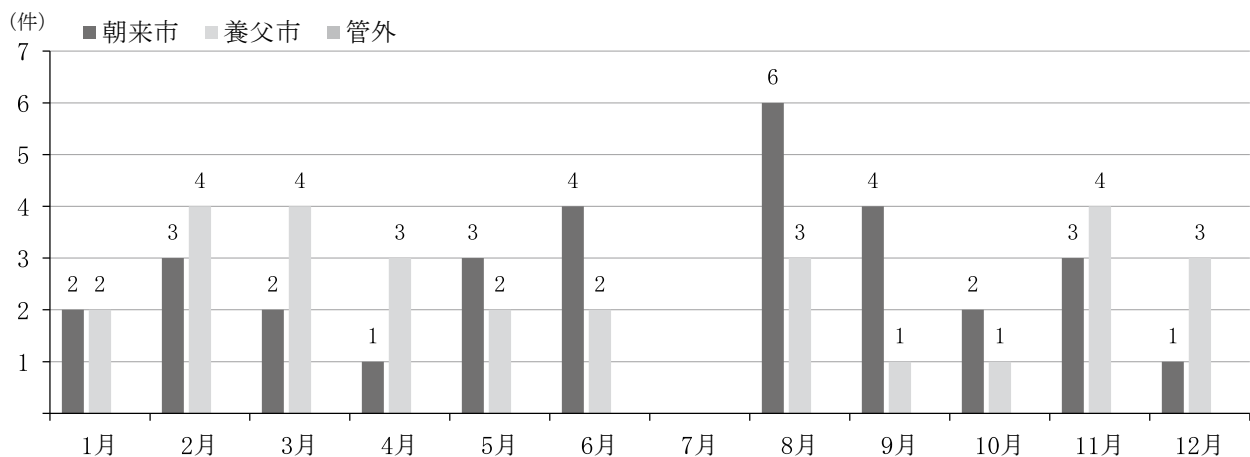
年次別救助発生状況

種 別		年 別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
総 数			59	67	63	52	60
朝 来 市	小 計		30	32	27	26	31
	火 災				2		
	交 通 事 故		15	16	6	17	10
	水 難 事 故			5	2		2
	自 然 災 害				3		
	機械による事故		2				5
	建物等による事故		2	1	1	1	4
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		11	10	13	8	10
養 父 市	小 計		29	34	36	26	29
	火 災						1
	交 通 事 故		14	19	18	10	10
	水 難 事 故		1	1		2	1
	自 然 災 害				1		
	機械による事故		1			1	
	建物等による事故			1	4	1	4
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		13	13	13	12	13
管 外				1			



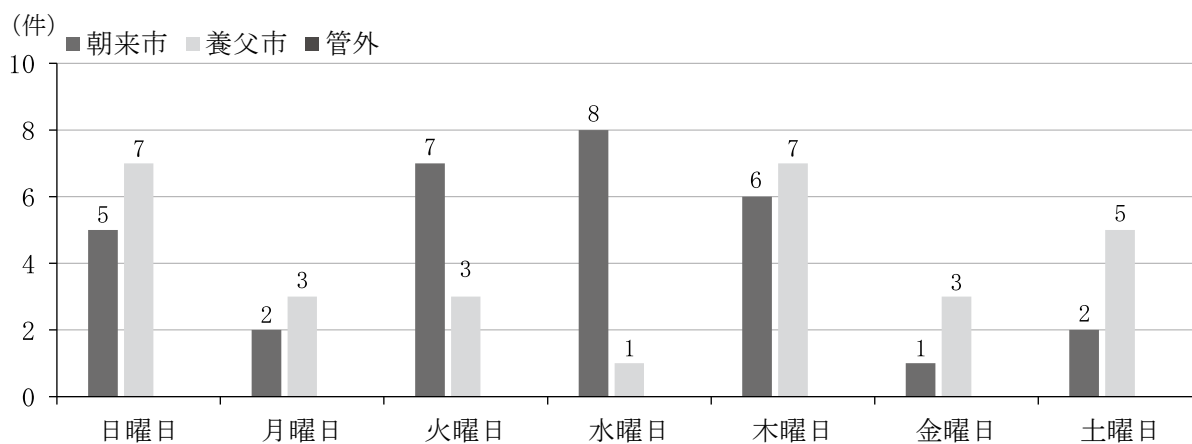
月別救助発生状況

種 別		月 別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数			60	4	7	6	4	5	6		9	5	3	7	4
朝 来 市	小 計		31	2	3	2	1	3	4		6	4	2	3	1
	火 災														
	交 通 事 故		10		2			1	1		3	1	1	1	
	水 難 事 故		2								1	1			
	自 然 災 害														
	機械による事故		5			1	1		2			1			
	建物等による事故		4	1	1						1	1			
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		10	1		1		2	1		1		1	2	1
養 父 市	小 計		29	2	4	4	3	2	2		3	1	1	4	3
	火 災		1			1									
	交 通 事 故		10	1	2	3	1		1						2
	水 難 事 故		1		1										
	自 然 災 害														
	機械による事故														
	建物等による事故		4								3				1
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		13	1	1		2	2	1			1	1	4	
管外	小 計														



曜日別救助発生状況

種 別		曜日別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数			60	12	5	10	9	13	4	7
朝来市	小 計		31	5	2	7	8	6	1	2
	火 災									
	交 通 事 故		10			4	2	1	1	2
	水 難 事 故		2	1			1			
	自 然 災 害									
	機械による事故		5	1			2	2		
	建物等による事故		4	2				2		
	ガス及び酸欠事故									
	破 裂 事 故									
	そ の 他		10	1	2	3	3	1		
養父市	小 計		29	7	3	3	1	7	3	5
	火 災		1	1						
	交 通 事 故		10	2	1			1	2	4
	水 難 事 故		1					1		
	自 然 災 害									
	機械による事故									
	建物等による事故		4	2					1	1
	ガス及び酸欠事故									
	破 裂 事 故									
	そ の 他		13	2	2	3	1	5		
管外	小 計									

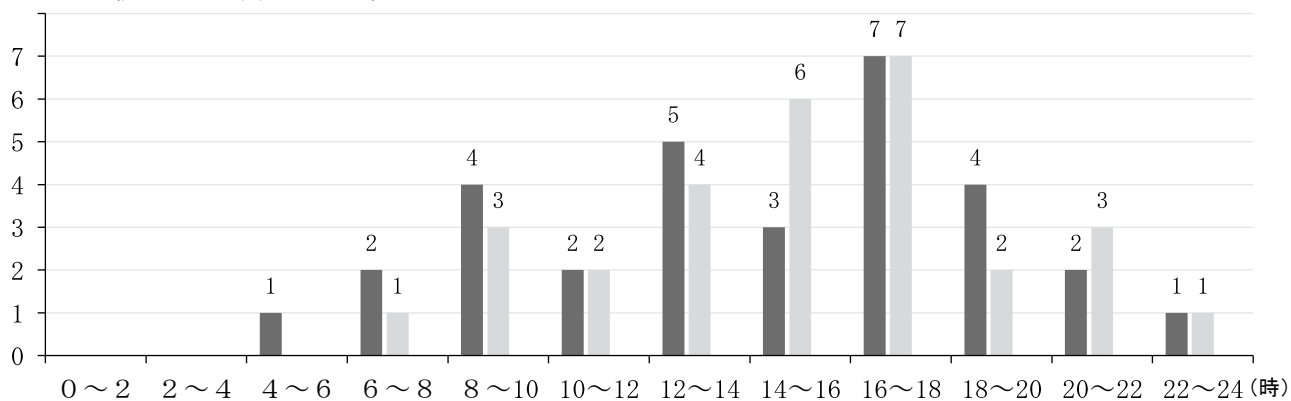


時間別救助発生状況

種 別		時間別	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数			60			1	3	7	4	9	9	14	6	5	2
朝 来 市	小 計		31			1	2	4	2	5	3	7	4	2	1
	火 災														
	交 通 事 故		10					2	2		2	2	2		
	水 難 事 故		2							1		1			
	自 然 災 害														
	機械による事故		5							1	1	2	1		
	建物等による事故		4							2		1	1		
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		10			1	2	2		1		1		2	1
養 父 市	小 計		29				1	3	2	4	6	7	2	3	1
	火 災		1						1						
	交 通 事 故		10							3	3	2		2	
	水 難 事 故		1									1			
	自 然 災 害														
	機械による事故														
	建物等による事故		4					1		1			1		1
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		13				1	2	1		3	4	1	1	
管外	小 計														

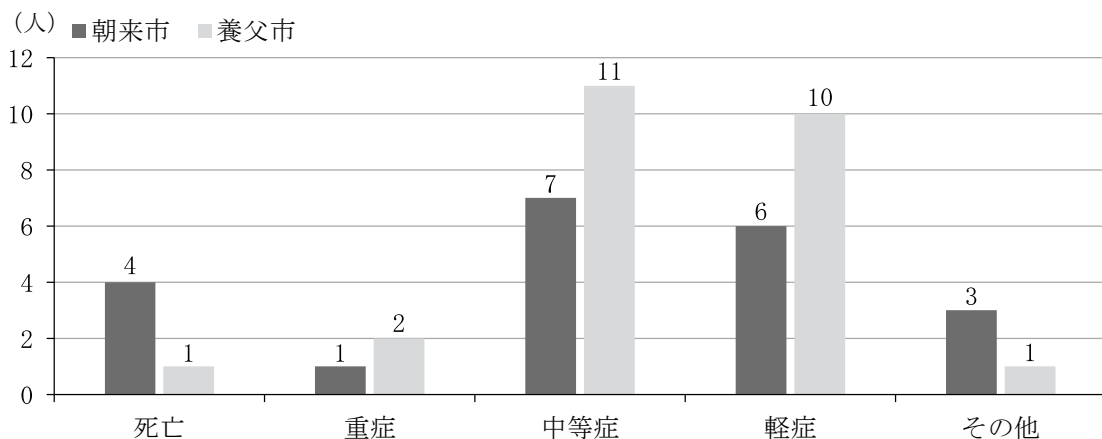
(件)

■ 朝来市 ■ 養父市 ■ 管外



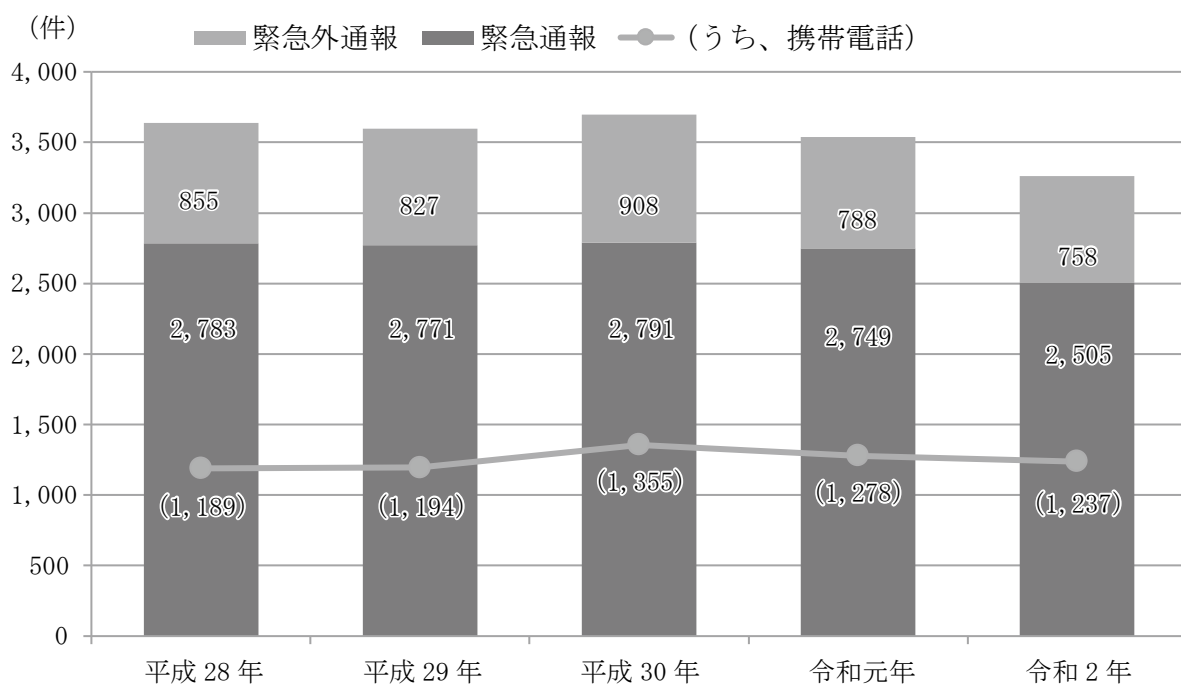
事故種別・傷病程度別状況

種 別		傷病程度	救 助 人 員				
		総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
総 数		46	5	3	18	16	4
朝 来 市	小 計	21	4	1	7	6	3
	火 災						
	交 通 事 故	4	1		1	2	
	水 難 事 故	2			1		1
	自 然 災 害						
	機械による事故	4	1		1	2	
	建物等による事故	2		1	1		
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	9	2		3	2	2
養 父 市	小 計	25	1	2	11	10	1
	火 災	1	1				
	交 通 事 故	11			5	6	
	水 難 事 故	1		1			
	自 然 災 害						
	機械による事故						
	建物等による事故	1					1
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	11		1	6	4	
管外	小 計						



年次別 119 番受信状況

種別 \ 年別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年
総 数 (うち、携帯電話)		3,638 (1,189)	3,598 (1,194)	3,699 (1,355)	3,537 (1,278)	3,263 (1,237)
緊急通報	小 計	2,783	2,771	2,791	2,749	2,505
	火 災 通 報	21	15	23	18	12
	救 急 要 請	2,576	2,591	2,572	2,545	2,327
	災 害 の 第 2 報 等	146	127	149	155	132
	そ の 他 誤 報	40	38	47	31	34
緊急外通報	小 計	855	827	908	788	758
	通 報 訓 練	327	305	304	345	296
	間 違 い	90	94	117	88	133
	問 合 わ せ	74	83	111	62	73
	病 院 照 会	59	65	48	48	25
	そ の 他	305	280	328	245	231



消防用機器の配置状況

令和3年4月1日現在

	名 称	朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設Ⅰ型	1	
	119番専用回線（携帯等含）	8回線	
	119番FAX受信装置	1	
	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	2	1
	防災無線設備	1	
	車両動態システム（AVM）	11	9
	簡易車両動態システム	3	1
	消防職団員参集メールシステム	1	
消 防 資 機 材	ホース（65mm）	138	118
	ホース（50mm）	148	159
	C級可搬式ポンプ	3	1
	D級可搬式ポンプ		1
	ジェットシューター	27	32
	高発泡器	1	1
	組立式布水槽	3	4
	C A F S 薬剤	3600	1800
救 急 資 機 材	熱画像直視装置	1	1
	半自動除細動器	3	3
	患者監視装置	3	3
	パルスオキシメーター	3	3
	喉頭鏡	3	3
	ビデオ硬性喉頭鏡	3	3
	気管挿管セット	3	3
	呼吸管理器具	3	3
	自動式心マッサージ器	3	3
	陰圧式固定具	3	3
	スクープストレッチャー	5	4
	バックボード	9	6
	高度救急シミュレーター	2	2
	静脈注射訓練モデル	3	3
	心肺蘇生訓練用人形	9	9
	A E D トレーナー	4	4
	ショートボード	1	2

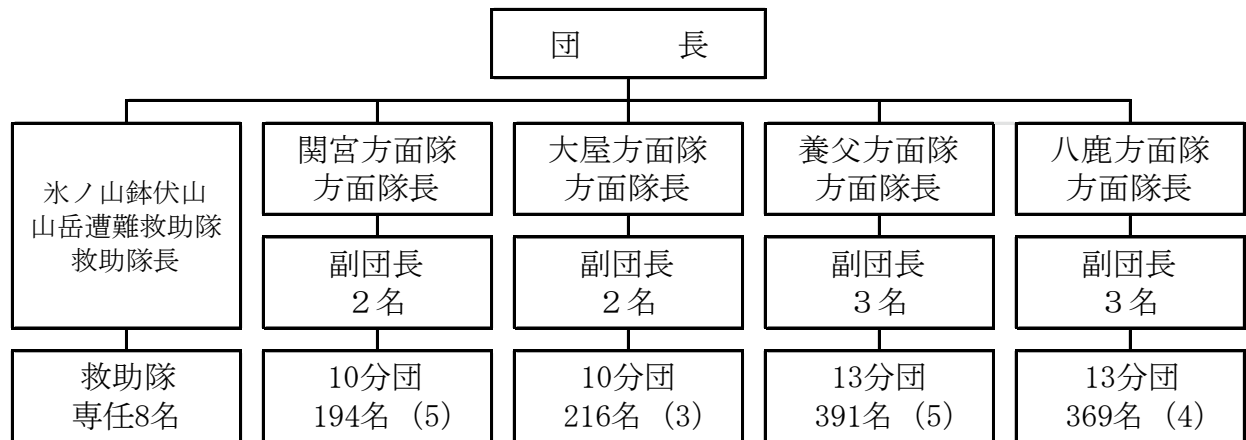
	名 称	朝来署	養父署
救 助 資 機 材	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	17	14
	エンジンカッター	3	2
	エアーカッター	1	1
	エッジローラー	2	2
	チルホール	2	2
	チェーンソー	3	2
	ルーカスレスキューツール	1	1
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット	1	1
	緩降機	1	1
	送排風機	1	1
	救命索発射銃	1	1
機 材	舟型担架	2	2
	スケッドストレッチャー	3	3
	ガス溶断機	1	1
	エアーソー	1	1
	グラスソー	7	4
	化学防護服（陽圧式）	4	
	化学防護服	4	6
	防毒マスク	14	7
	マンホール救助器具	1	1
	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
	車両移動器具	2	1
	削岩機		1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
	距離測定器	1	1
	G P S	2	2
	ハンマードリル	2	1
	セイバーソー	1	1
	エアーテント	2	1
	ウェットスーツ一式	5	6
	救命胴衣（P F D 含む）	34	40
	救命浮輪（浮環）	6	5
	救助用ボート	1	
	船外機	1	
	ラフティングボート		1

各種団体

消 防 団

令和3年4月1日現在

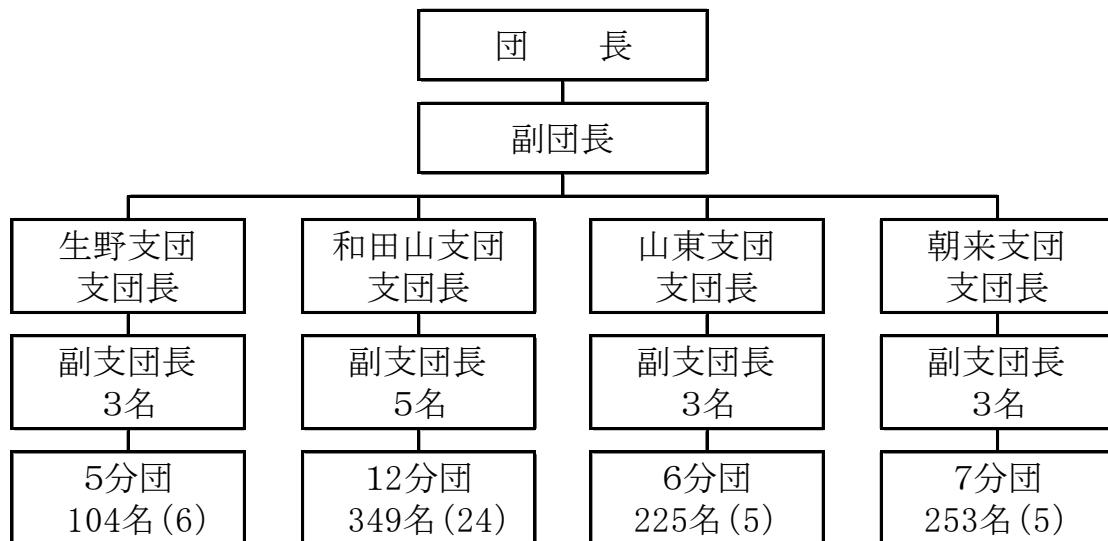
●養父市消防団組織図（総員1,194名）



※氷ノ山鉢伏山山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む

() 内は女性団員

●朝来市消防団組織図（総員951名）



() 内は女性団員

●令和2年度消防団との合同訓練

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため合同訓練実施が難しい状況でした。

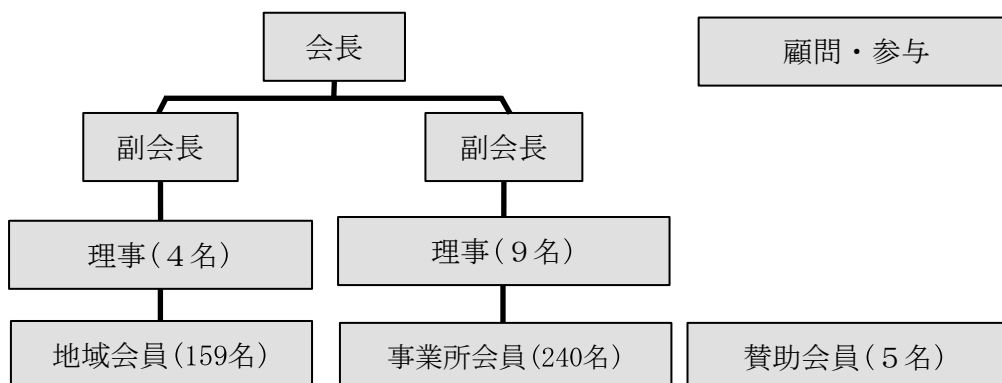
令和2年度消防団との合同訓練内容

養父市	11月15日	養父市密集地火災防ぎょ訓練	大屋町大屋市場
朝来市	合同訓練は、中止又は消防団のみで実施。		

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

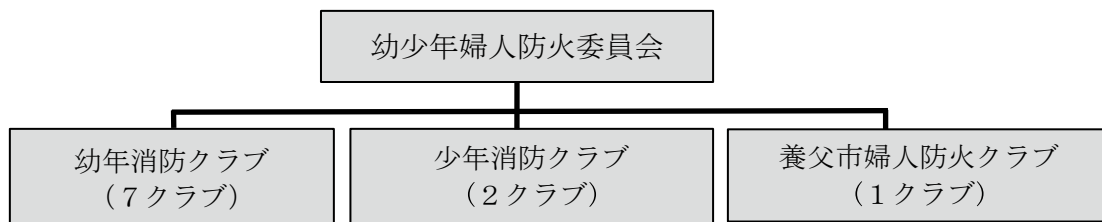
(令和3年4月1日現在)



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

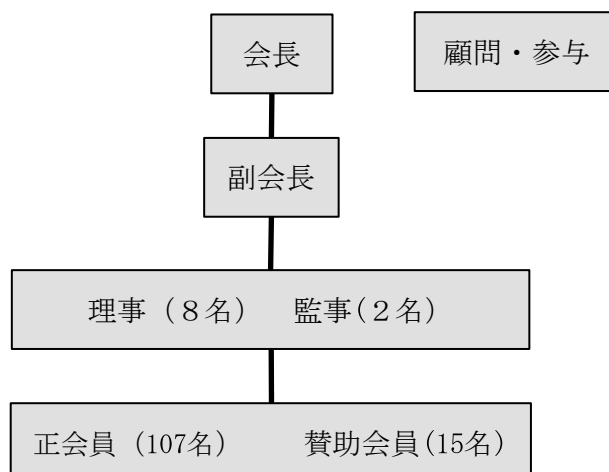
(令和3年4月1日現在)



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(令和3年4月1日現在)





天空の城 竹田城跡 (朝来市)

提供：吉田 利栄氏



氷ノ山国際スキー場 (養父市)

提供：やぶ市広報課

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

消防年報 第9号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

TEL (079) 672-0119

FAX (079) 672-5046

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。